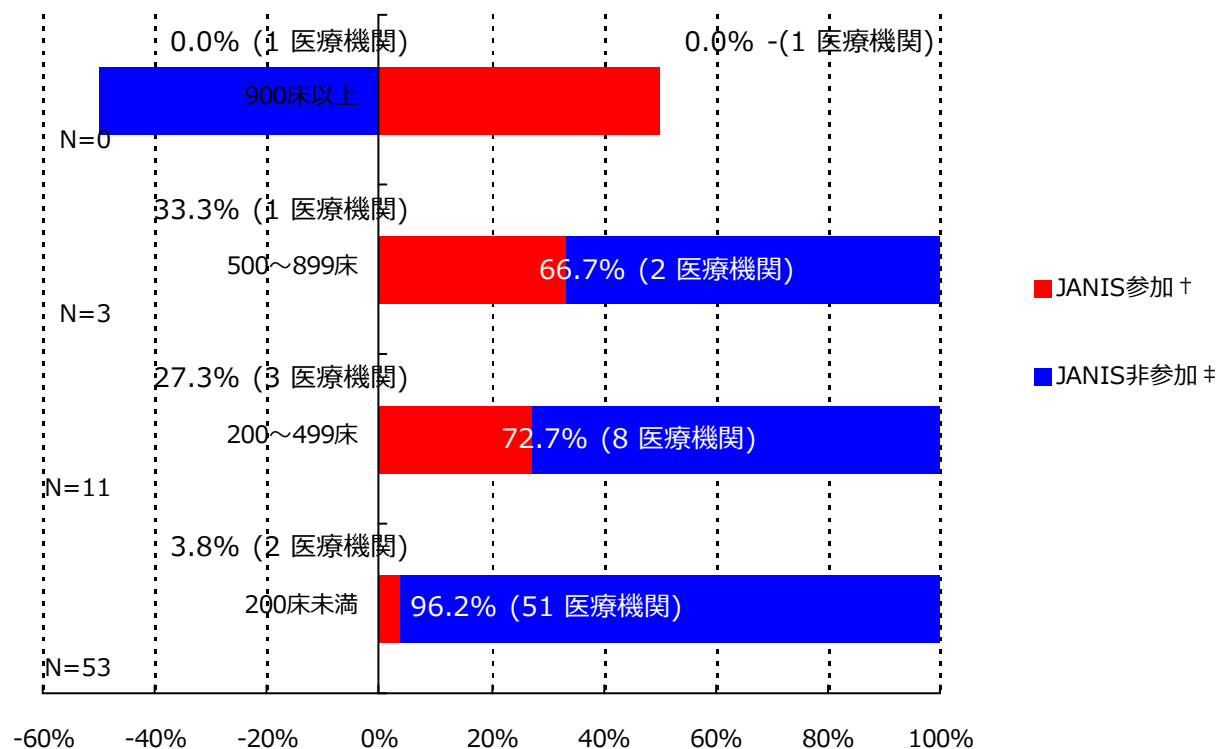


## 1. データ提出医療機関\*数(7医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2019年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2018年 都道府県別医療機関数¶) - (2019年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2018年 都道府県別医療機関数¶	2019年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	1 ( - )
500～899床	3	1 ( 33.3%)
200～499床	11	3 ( 27.3%)
200床未満	53	2 ( 3.8%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	67	7 ( 10.4%)

¶2018年医療施設（動態）調査を参照した。

(福井県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

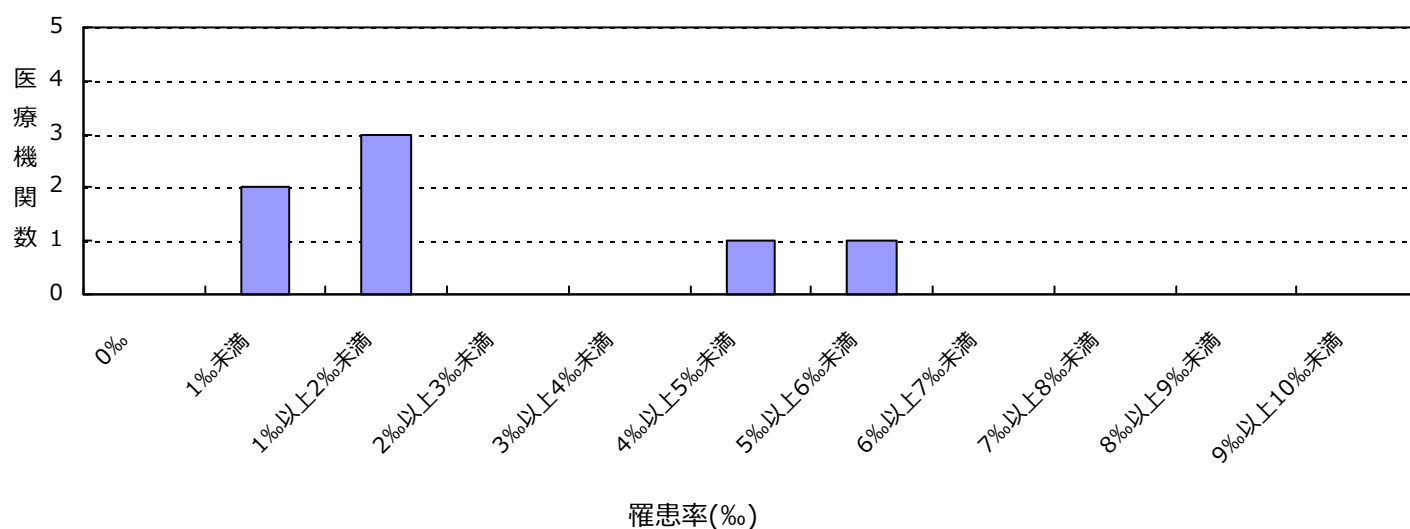


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	46,026	4	115	2.50%	0.90 1.65 5.76

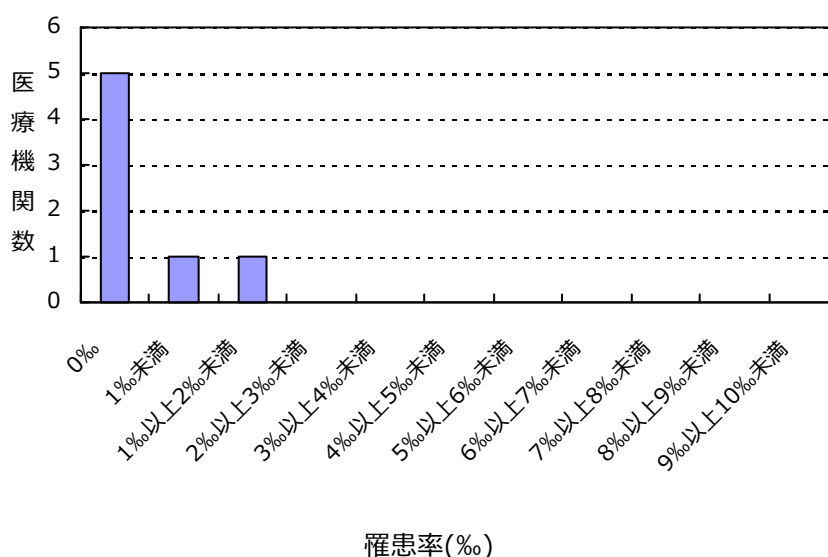
集計対象医療機関の罹患率(N=7)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	46,026	0	26	0.56%	0.00 0.00 1.17

集計対象医療機関の罹患率(N=7)



(福井県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

## 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

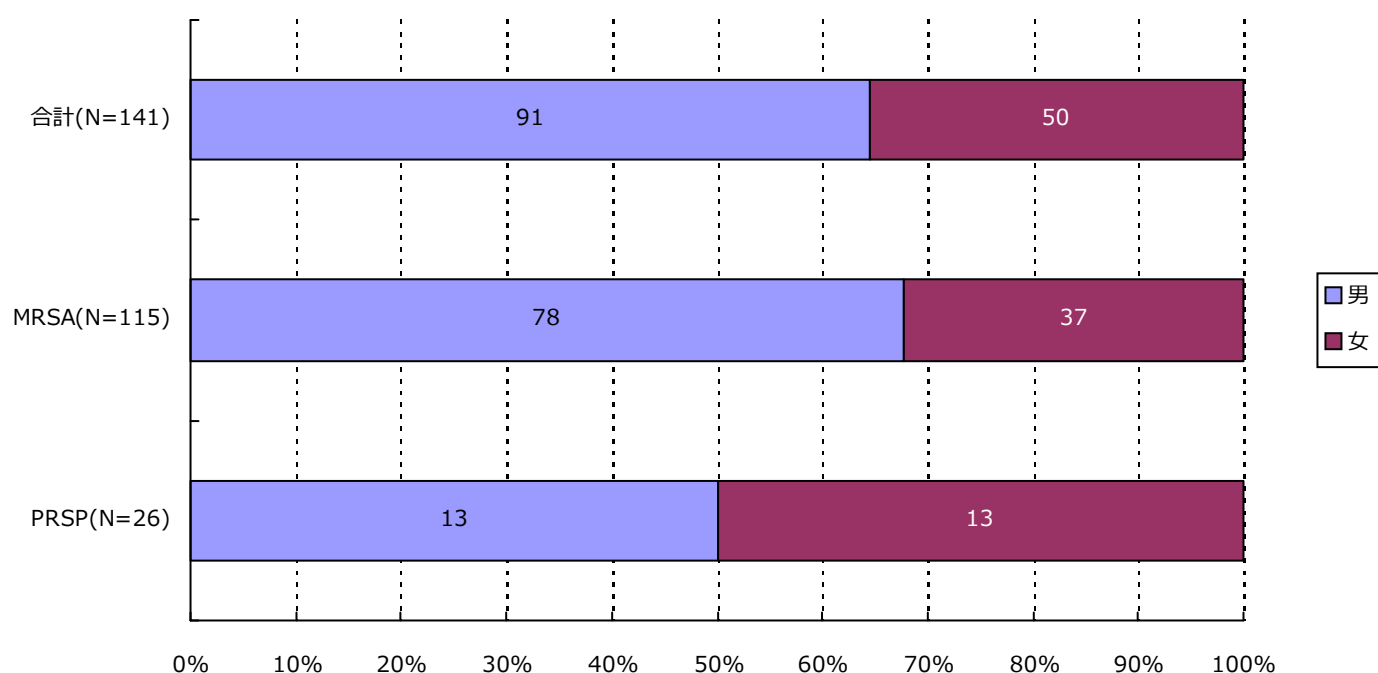
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

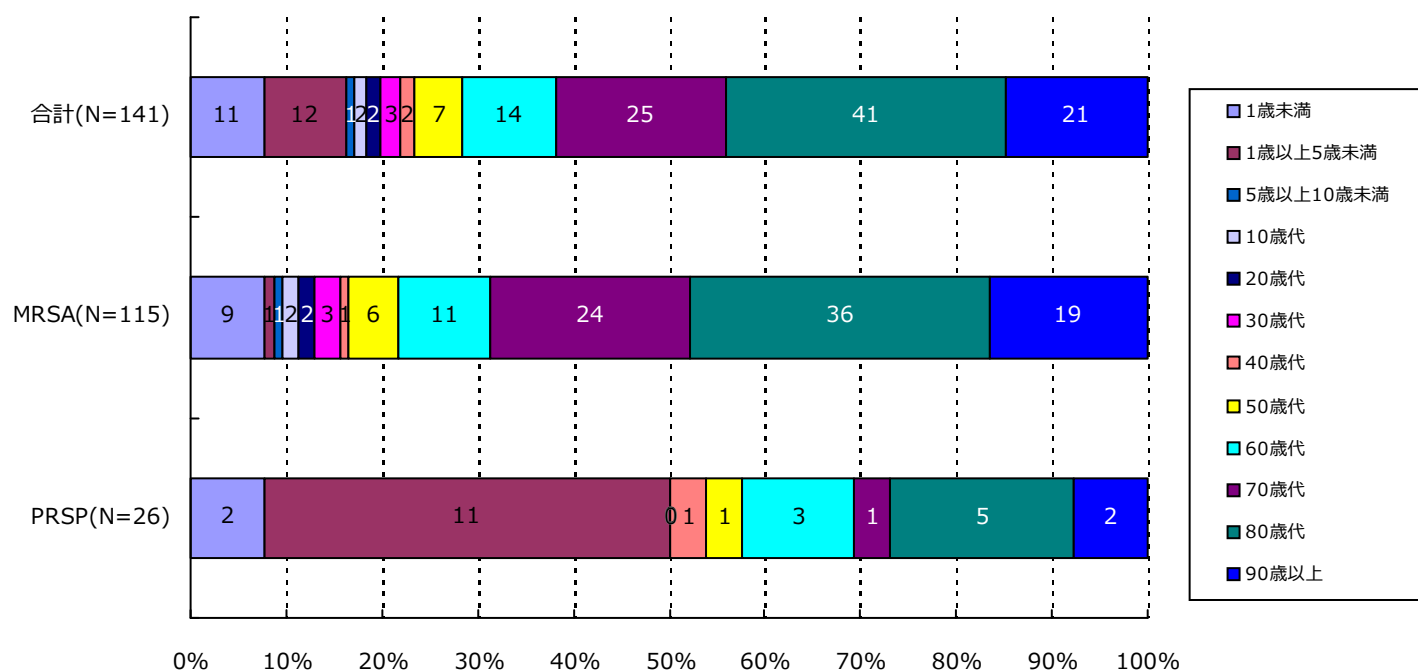
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



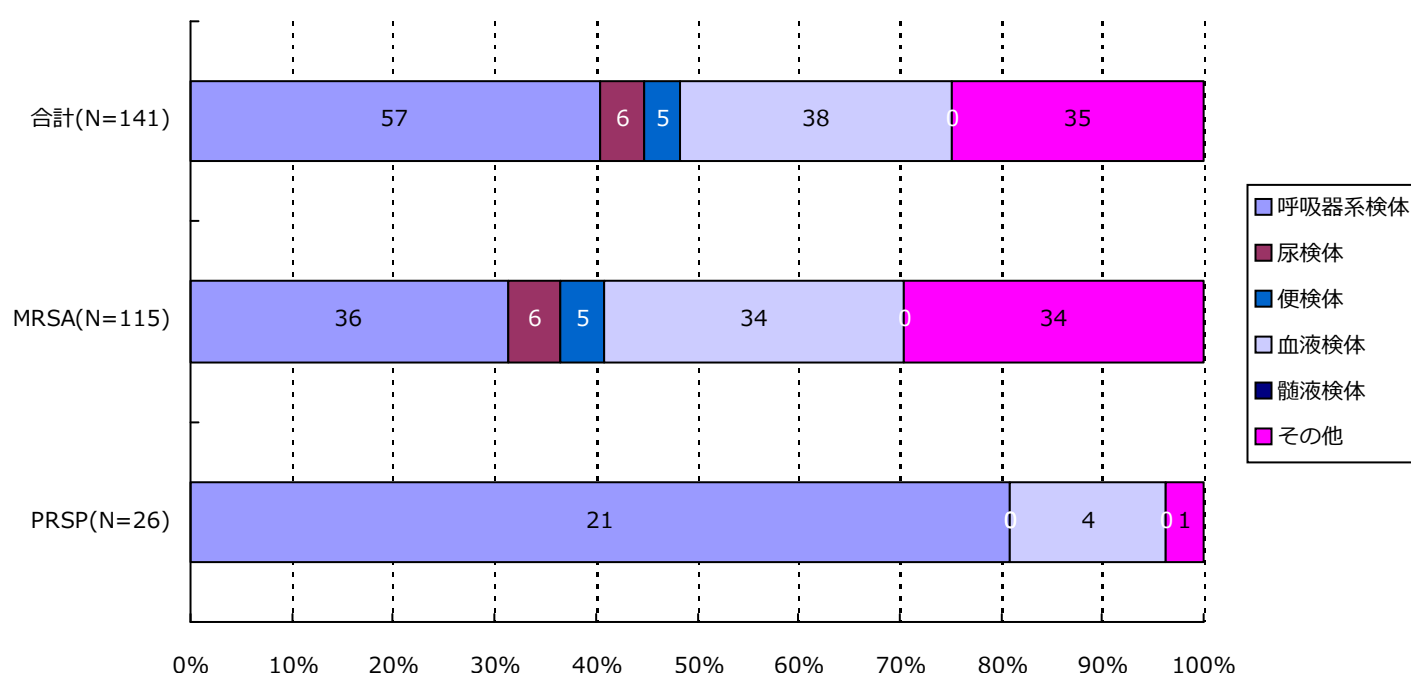
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	91 ( 64.5% )	78 ( 67.8% )	0 ( - )	0 ( - )	13 ( 50.0% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
女	50 ( 35.5% )	37 ( 32.2% )	0 ( - )	0 ( - )	13 ( 50.0% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
合計	141	115	0	0	26	0	0	0

#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	11( 7.8%)	9( 7.8%)	0( -)	0( -)	2( 7.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	12( 8.5%)	1( 0.9%)	0( -)	0( -)	11( 42.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	1( 0.7%)	1( 0.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	2( 1.4%)	2( 1.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	2( 1.4%)	2( 1.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	3( 2.1%)	3( 2.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	2( 1.4%)	1( 0.9%)	0( -)	0( -)	1( 3.8%)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	7( 5.0%)	6( 5.2%)	0( -)	0( -)	1( 3.8%)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	14( 9.9%)	11( 9.6%)	0( -)	0( -)	3( 11.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
70歳代	25( 17.7%)	24( 20.9%)	0( -)	0( -)	1( 3.8%)	0( -)	0( -)	0( -)
80歳代	41( 29.1%)	36( 31.3%)	0( -)	0( -)	5( 19.2%)	0( -)	0( -)	0( -)
90歳以上	21( 14.9%)	19( 16.5%)	0( -)	0( -)	2( 7.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	141	115	0	0	26	0	0	0

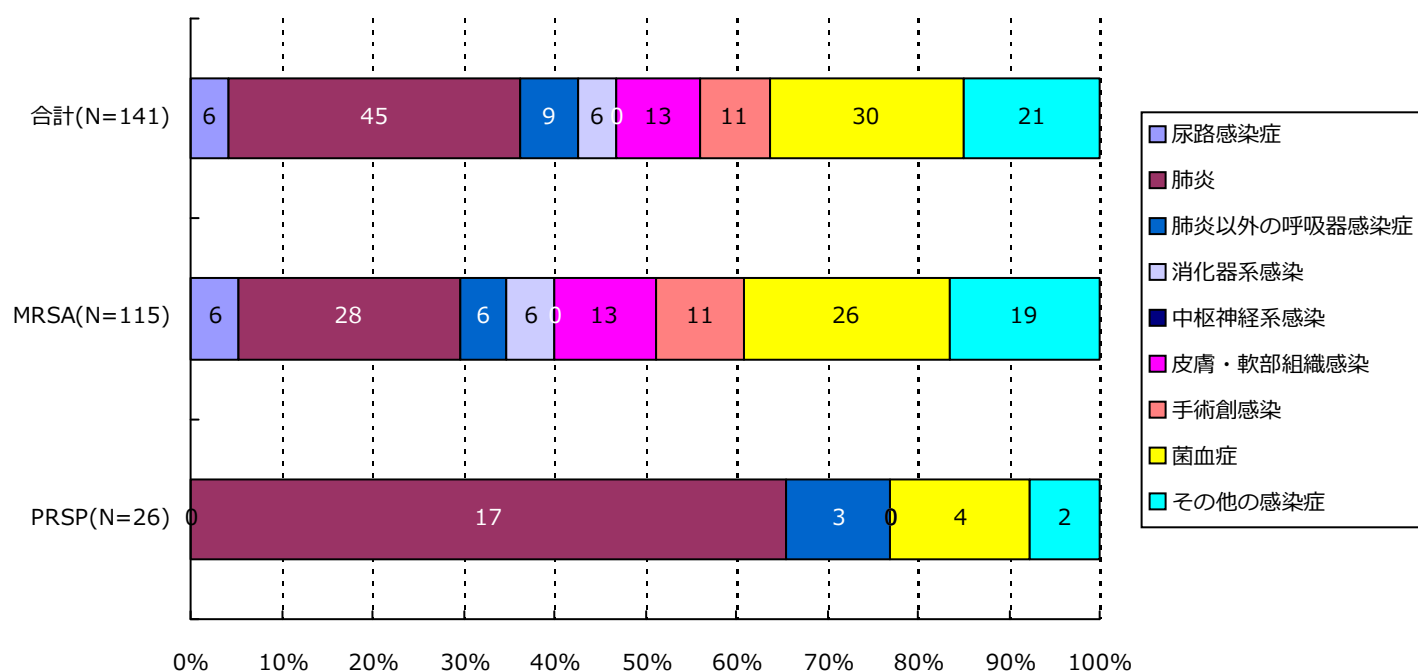
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	57( 40.4%)	36( 31.3%)	0( -)	0( -)	21( 80.8%)	0( -)	0( -)	0( -)
尿検体	6( 4.3%)	6( 5.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
便検体	5( 3.5%)	5( 4.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	38( 27.0%)	34( 29.6%)	0( -)	0( -)	4( 15.4%)	0( -)	0( -)	0( -)
髄液検体	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	35( 24.8%)	34( 29.6%)	0( -)	0( -)	1( 3.8%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	141	115	0	0	26	0	0	0

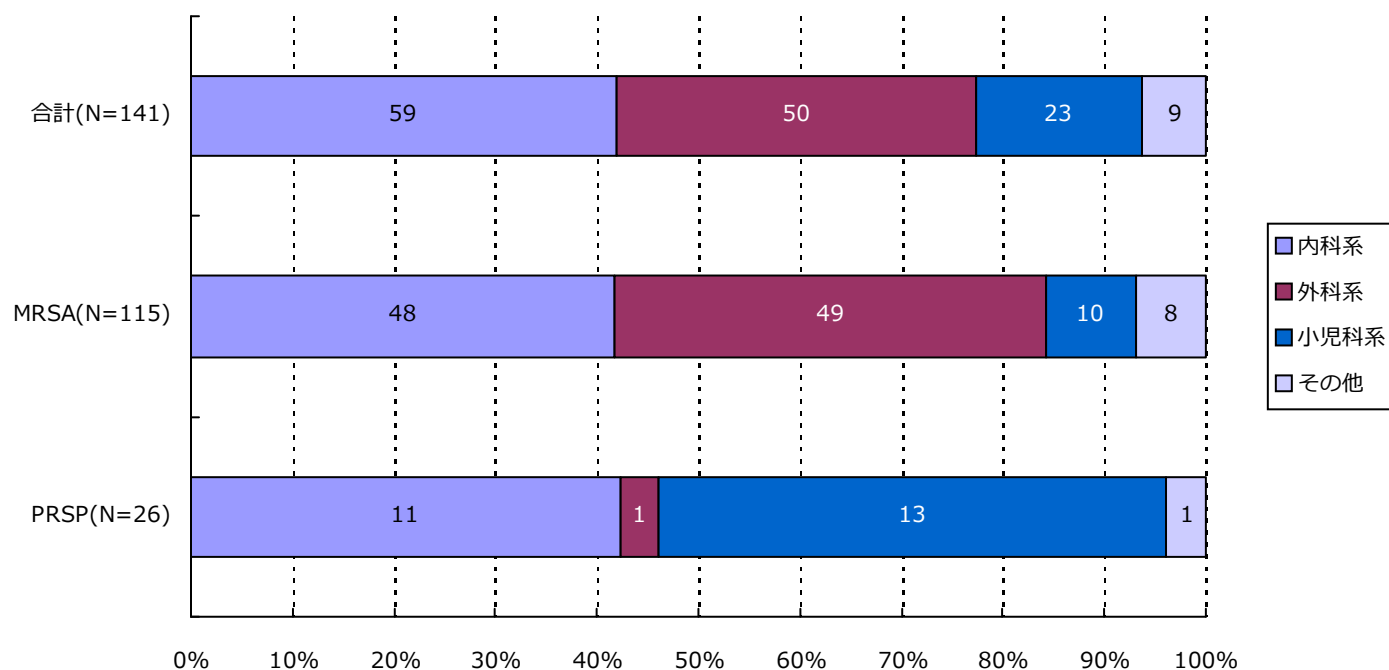
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	6( 4.3%)	6( 5.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎	45( 31.9%)	28( 24.3%)	0( -)	0( -)	17( 65.4%)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎以外	9( 6.4%)	6( 5.2%)	0( -)	0( -)	3( 11.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	6( 4.3%)	6( 5.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
中枢神経系	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	13( 9.2%)	13( 11.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	11( 7.8%)	11( 9.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	30( 21.3%)	26( 22.6%)	0( -)	0( -)	4( 15.4%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	21( 14.9%)	19( 16.5%)	0( -)	0( -)	2( 7.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	141	115	0	0	26	0	0	0

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	59( 41.8%)	48( 41.7%)	0( -)	0( -)	11( 42.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
外科系	50( 35.5%)	49( 42.6%)	0( -)	0( -)	1( 3.8%)	0( -)	0( -)	0( -)
小児科系	23( 16.3%)	10( 8.7%)	0( -)	0( -)	13( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	9( 6.4%)	8( 7.0%)	0( -)	0( -)	1( 3.8%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	141	115	0	0	26	0	0	0

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照



・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

## 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/mL* または CFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† LVFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

\* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

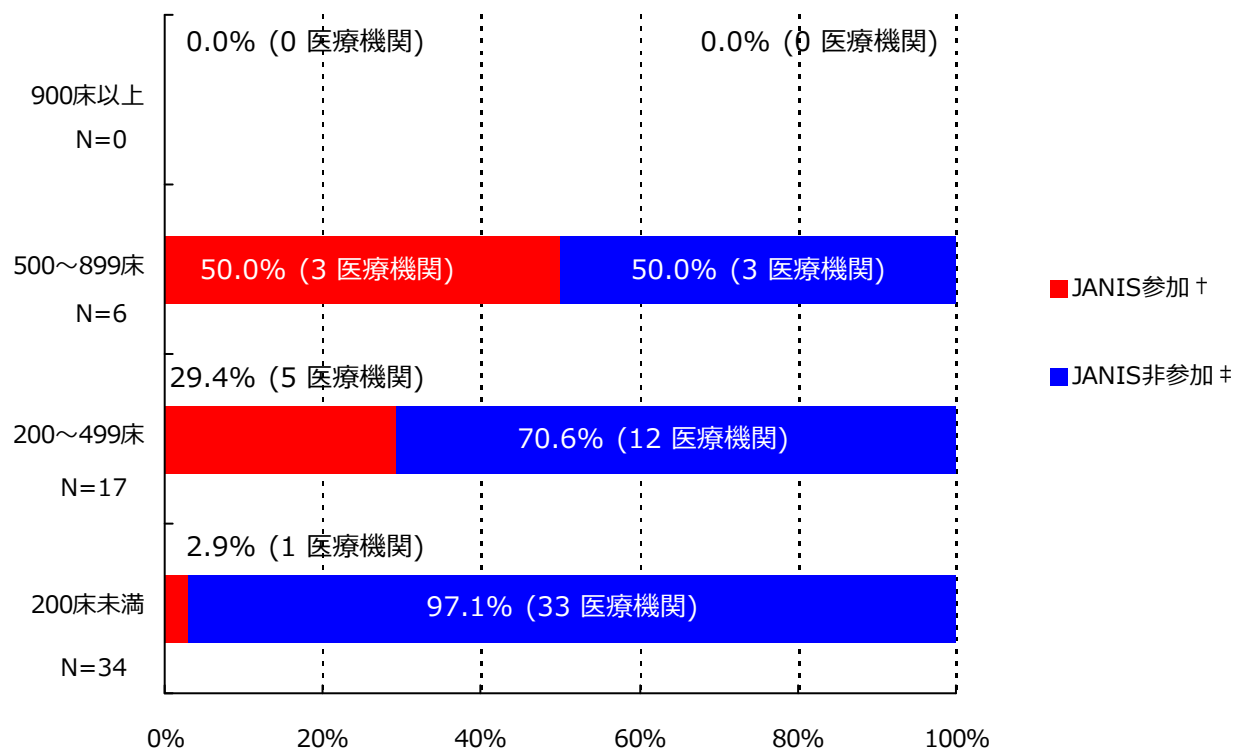
(滋賀県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 1. データ提出医療機関\*数(9医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2019年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2018年 都道府県別医療機関数¶) - (2019年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2018年 都道府県別医療機関数¶	2019年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	6	3 ( 50%)
200～499床	17	5 ( 29.4%)
200床未満	34	1 ( 2.9%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	57	9 ( 15.8%)

¶2018年医療施設（動態）調査を参照した。

(滋賀県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

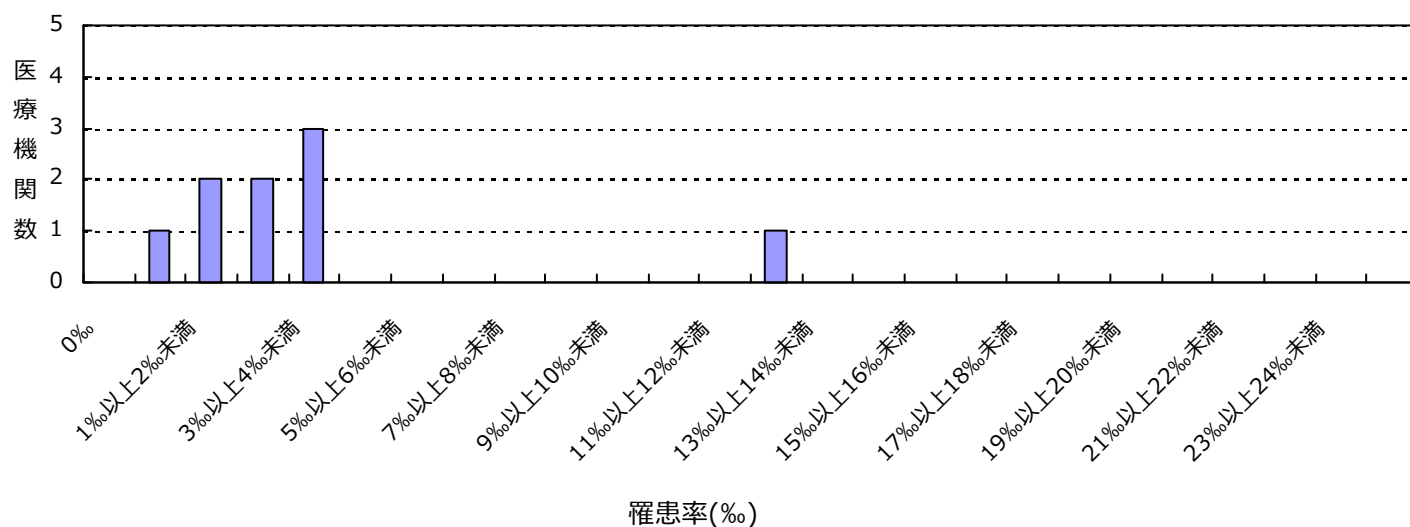


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MRSA	76,904	3	200	2.60‰	0.83 2.62 12.06  -----

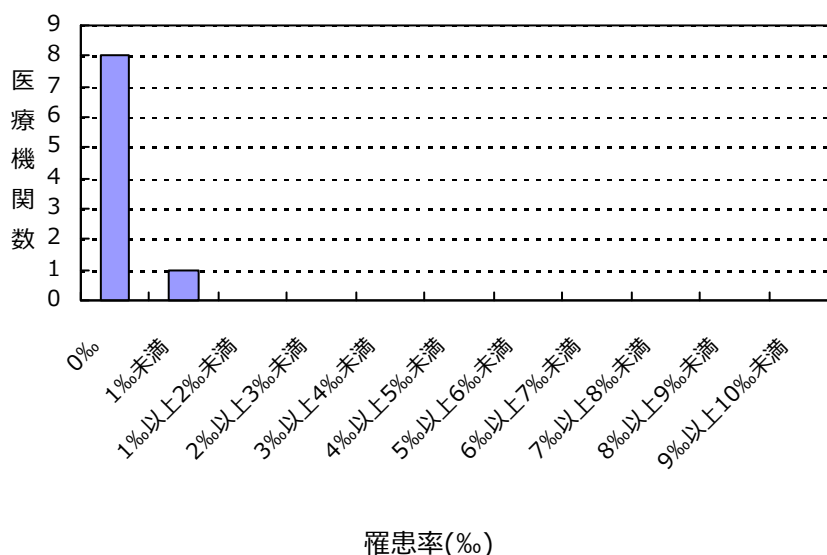
集計対象医療機関の罹患率(N=9)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	76,904	0	4	0.05‰	0.00 0.00 0.34  -----

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(滋賀県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

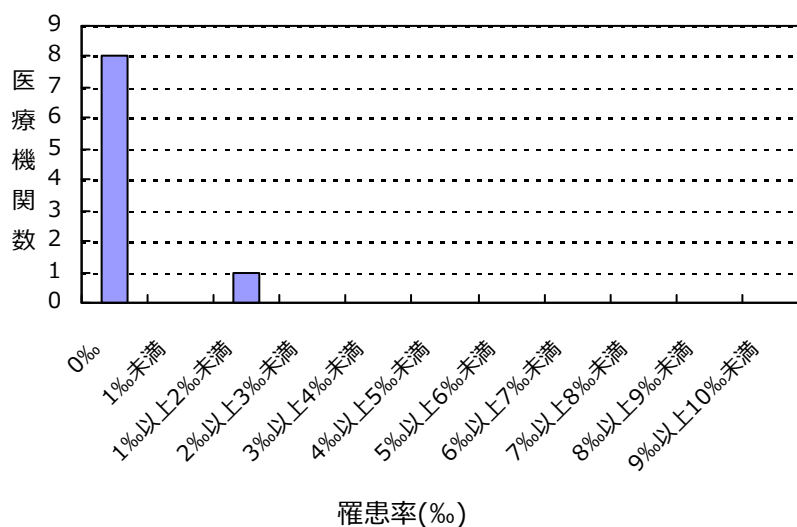


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	76,904	0	11	0.14‰	0.00 0.00 1.15

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(滋賀県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

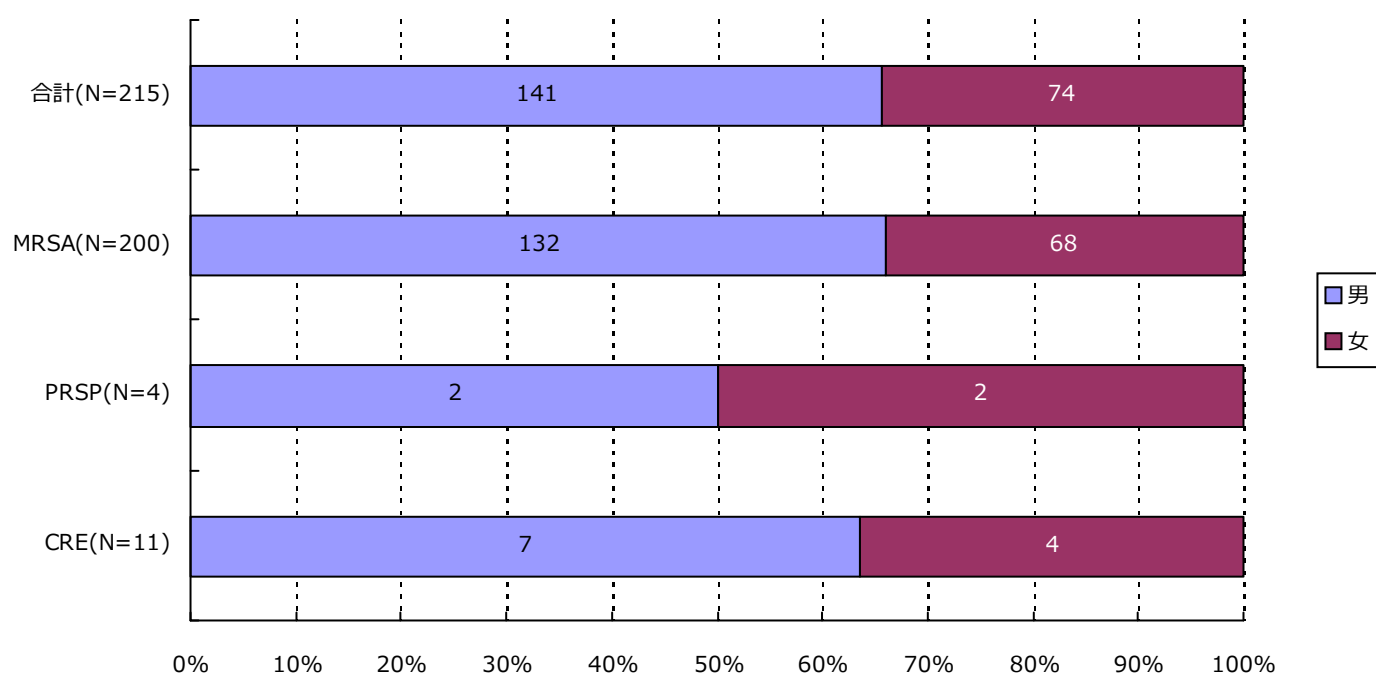
(滋賀県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

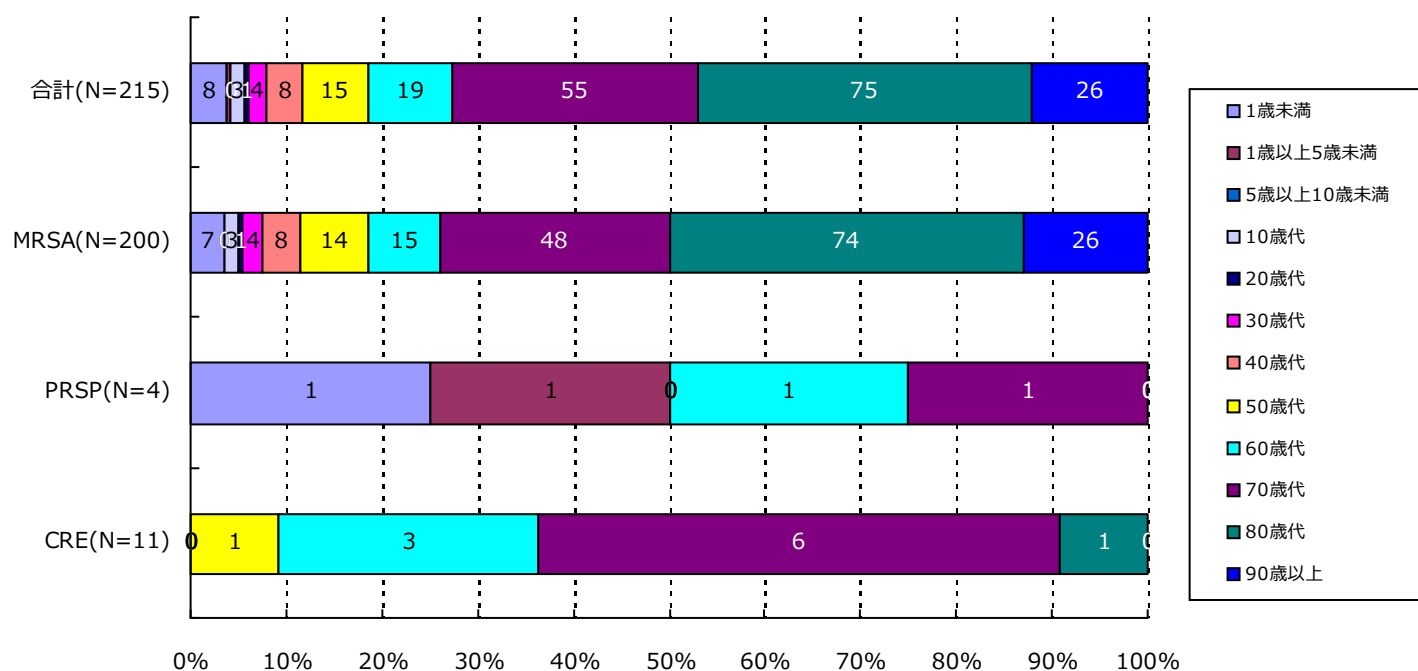


### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	141 ( 65.6% )	132 ( 66.0% )	0 ( - )	0 ( - )	2 ( 50.0% )	0 ( - )	0 ( - )	7 ( 63.6% )
女	74 ( 34.4% )	68 ( 34.0% )	0 ( - )	0 ( - )	2 ( 50.0% )	0 ( - )	0 ( - )	4 ( 36.4% )
合計	215	200	0	0	4	0	0	11

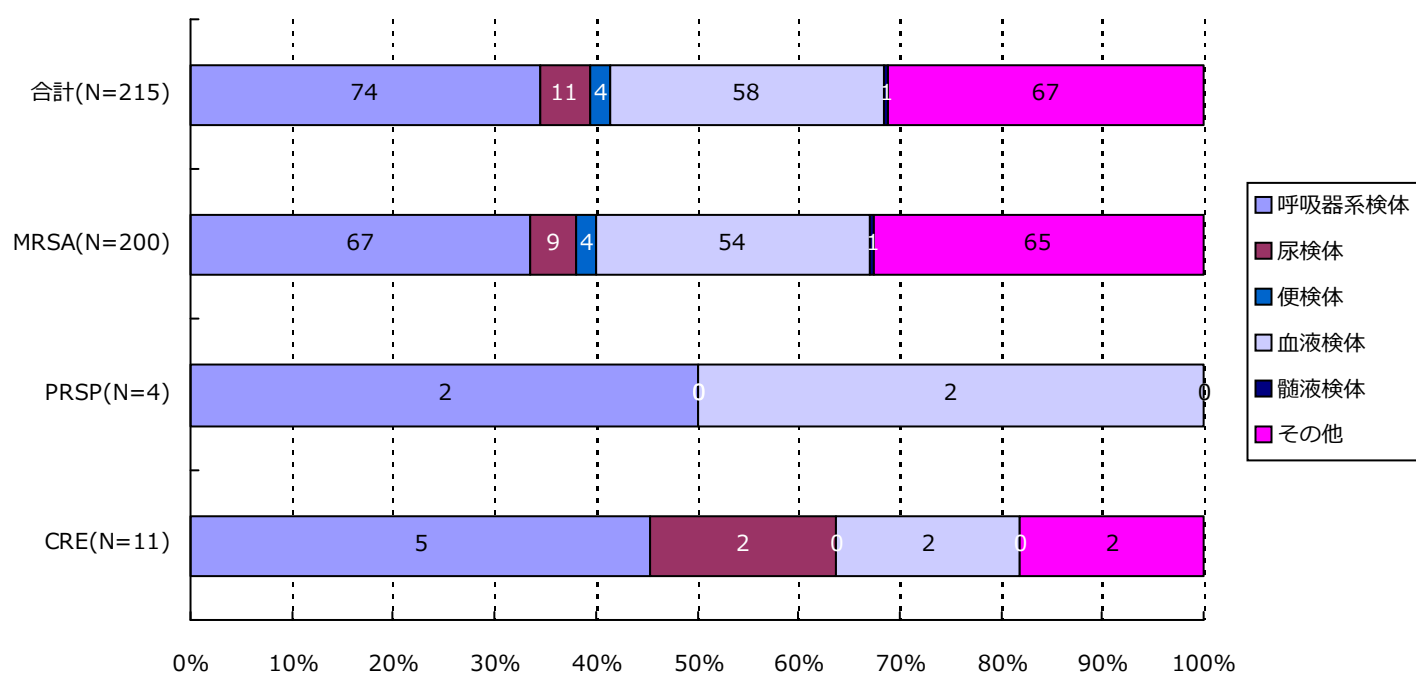
## 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	8( 3.7%)	7( 3.5%)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	1( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	3( 1.4%)	3( 1.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	1( 0.5%)	1( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	4( 1.9%)	4( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	8( 3.7%)	8( 4.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	15( 7.0%)	14( 7.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 9.1%)
60歳代	19( 8.8%)	15( 7.5%)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)	0( -)	0( -)	3( 27.3%)
70歳代	55( 25.6%)	48( 24.0%)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)	0( -)	0( -)	6( 54.5%)
80歳代	75( 34.9%)	74( 37.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 9.1%)
90歳以上	26( 12.1%)	26( 13.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	215	200	0	0	4	0	0	11



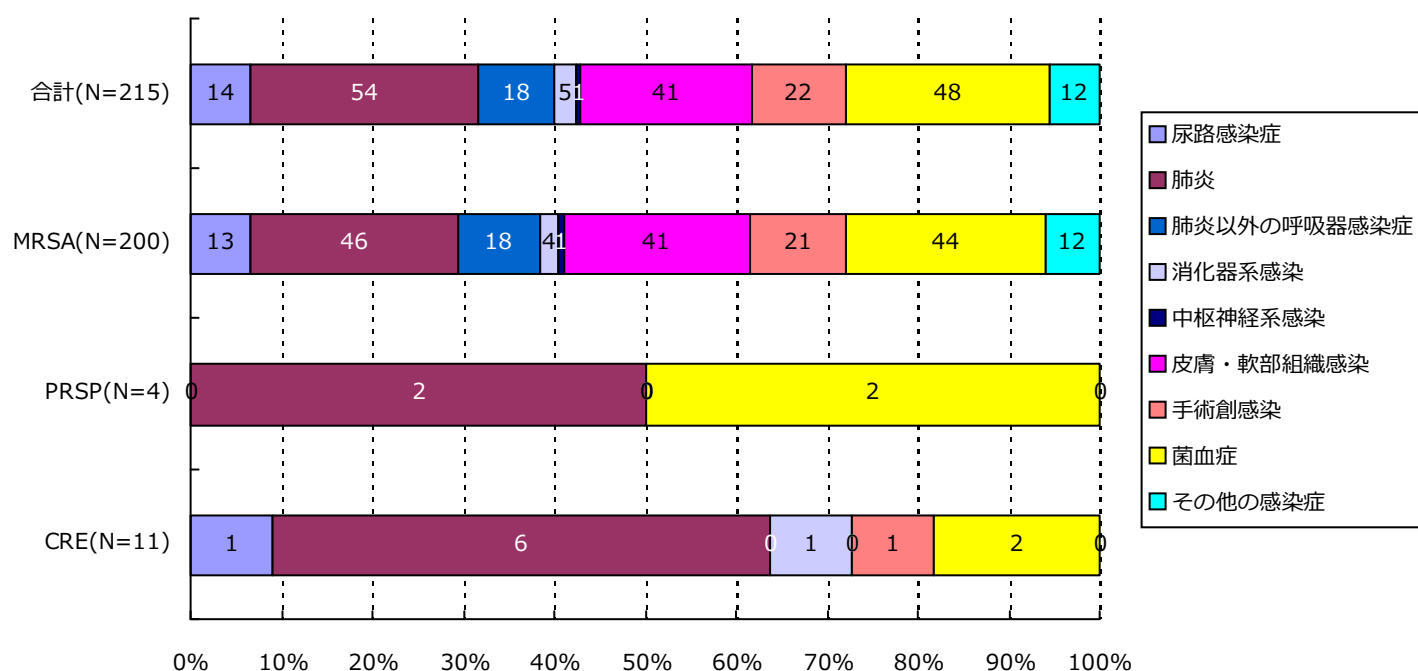
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	74( 34.4%)	67( 33.5%)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)	0( -)	0( -)	5( 45.5%)
尿検体	11( 5.1%)	9( 4.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 18.2%)
便検体	4( 1.9%)	4( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	58( 27.0%)	54( 27.0%)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)	0( -)	0( -)	2( 18.2%)
髄液検体	1( 0.5%)	1( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	67( 31.2%)	65( 32.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 18.2%)
合計	215	200	0	0	4	0	0	11

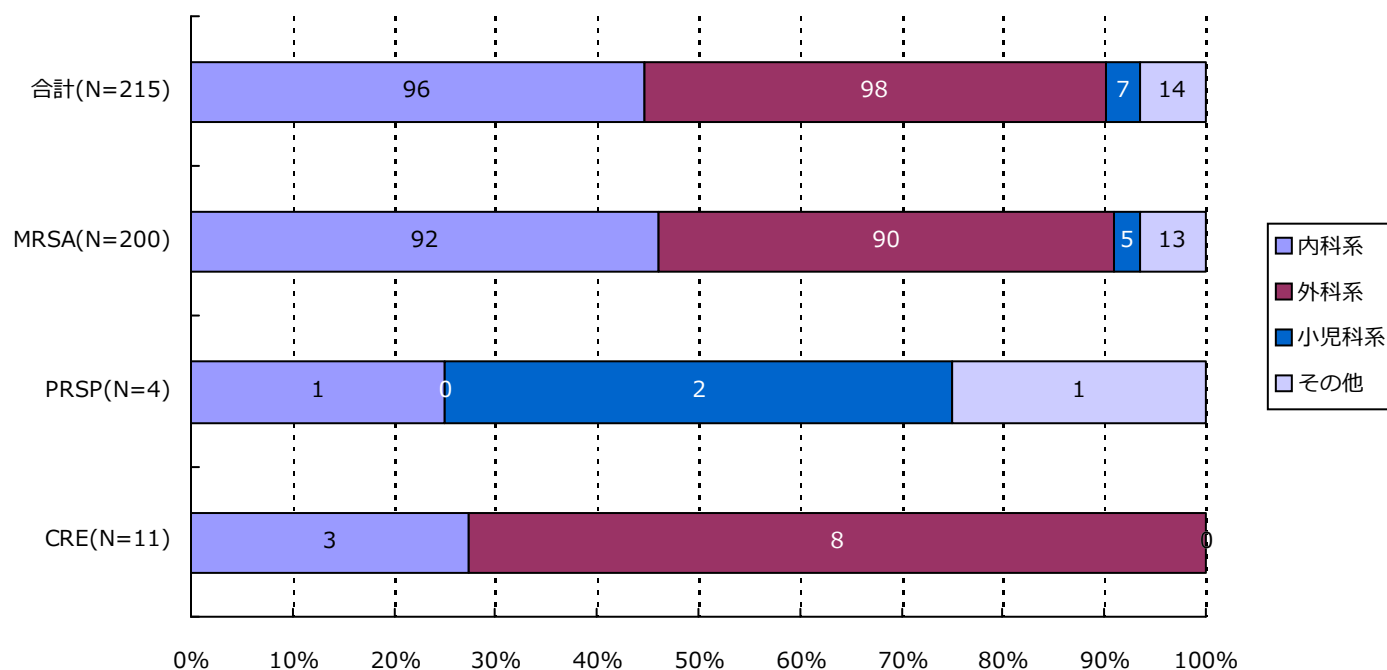
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	14( 6.5%)	13( 6.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 9.1%)
肺炎	54( 25.1%)	46( 23.0%)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)	0( -)	0( -)	6( 54.5%)
肺炎以外	18( 8.4%)	18( 9.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	5( 2.3%)	4( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 9.1%)
中枢神経系	1( 0.5%)	1( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	41( 19.1%)	41( 20.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	22( 10.2%)	21( 10.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 9.1%)
菌血症	48( 22.3%)	44( 22.0%)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)	0( -)	0( -)	2( 18.2%)
その他	12( 5.6%)	12( 6.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	215	200	0	0	4	0	0	11

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	96( 44.7%)	92( 46.0%)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)	0( -)	0( -)	3( 27.3%)
外科系	98( 45.6%)	90( 45.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	8( 72.7%)
小児科系	7( 3.3%)	5( 2.5%)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	14( 6.5%)	13( 6.5%)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	215	200	0	0	4	0	0	11

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

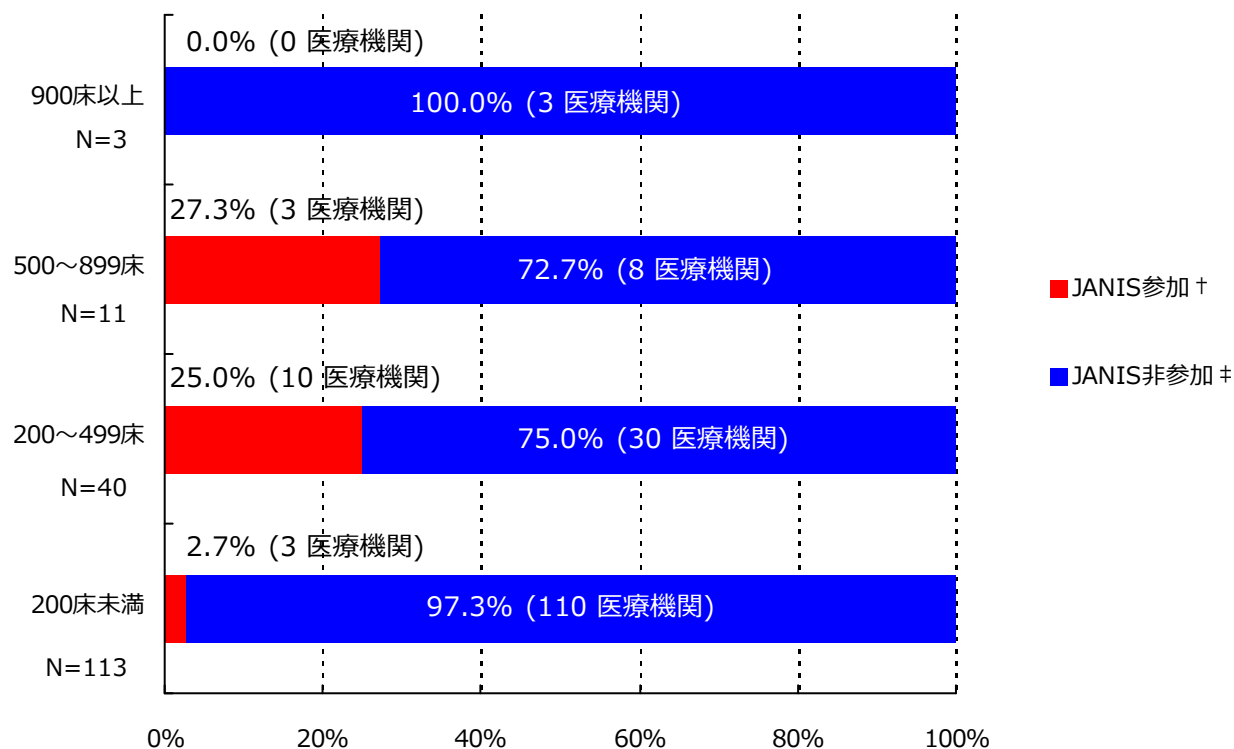
# 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/mL* または CFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† LVFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

\* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

## 1. データ提出医療機関\*数(16医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2019年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2018年 都道府県別医療機関数¶) - (2019年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2018年 都道府県別医療機関数¶	2019年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	3	0 ( 0%)
500～899床	11	3 ( 27.3%)
200～499床	40	10 ( 25%)
200床未満	113	3 ( 2.7%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	167	16 ( 9.6%)

¶2018年医療施設（動態）調査を参照した。

(京都府)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

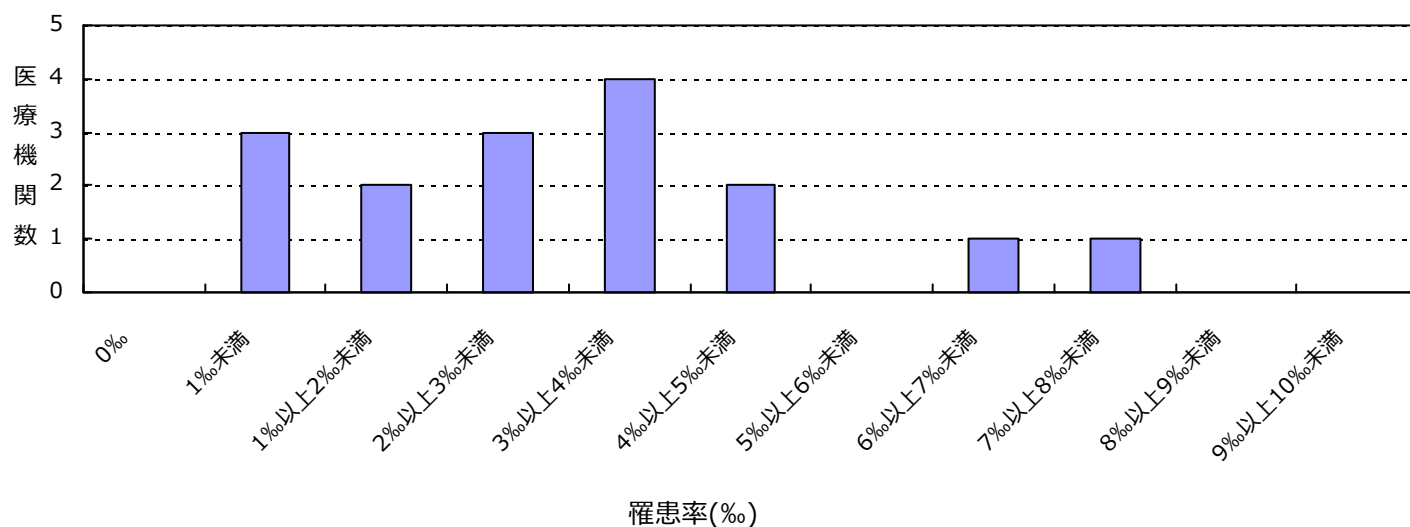


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	110,777	7	311	2.81%	0.32 2.85 7.79

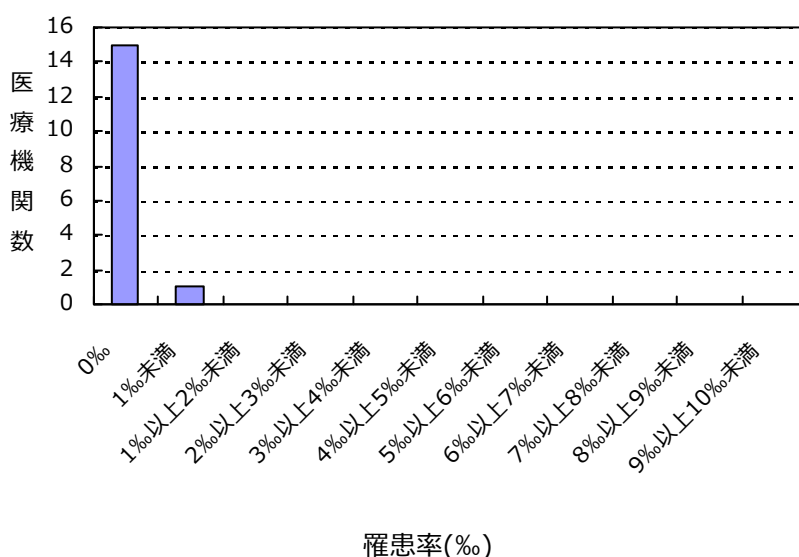
集計対象医療機関の罹患率(N=16)



### バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	110,777	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.24

集計対象医療機関の罹患率(N=16)



(京都府)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

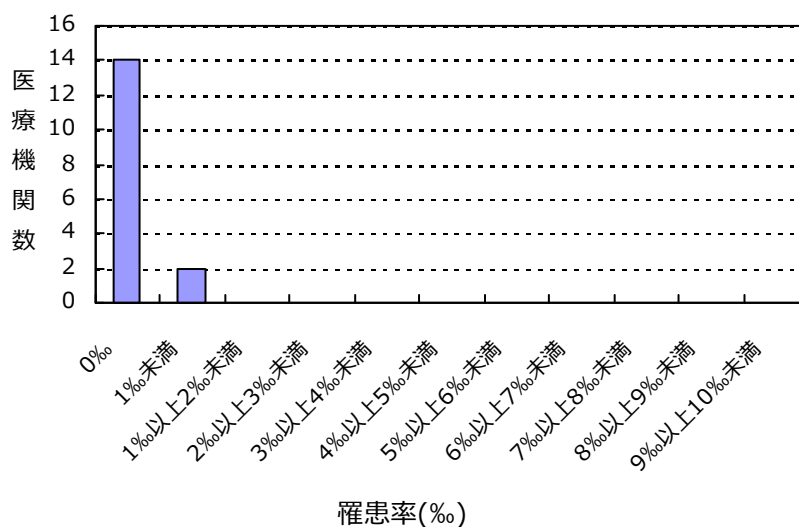


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	110,777	0	4	0.04‰	0.00 0.00 0.28

集計対象医療機関の罹患率(N=16)





(京都府)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

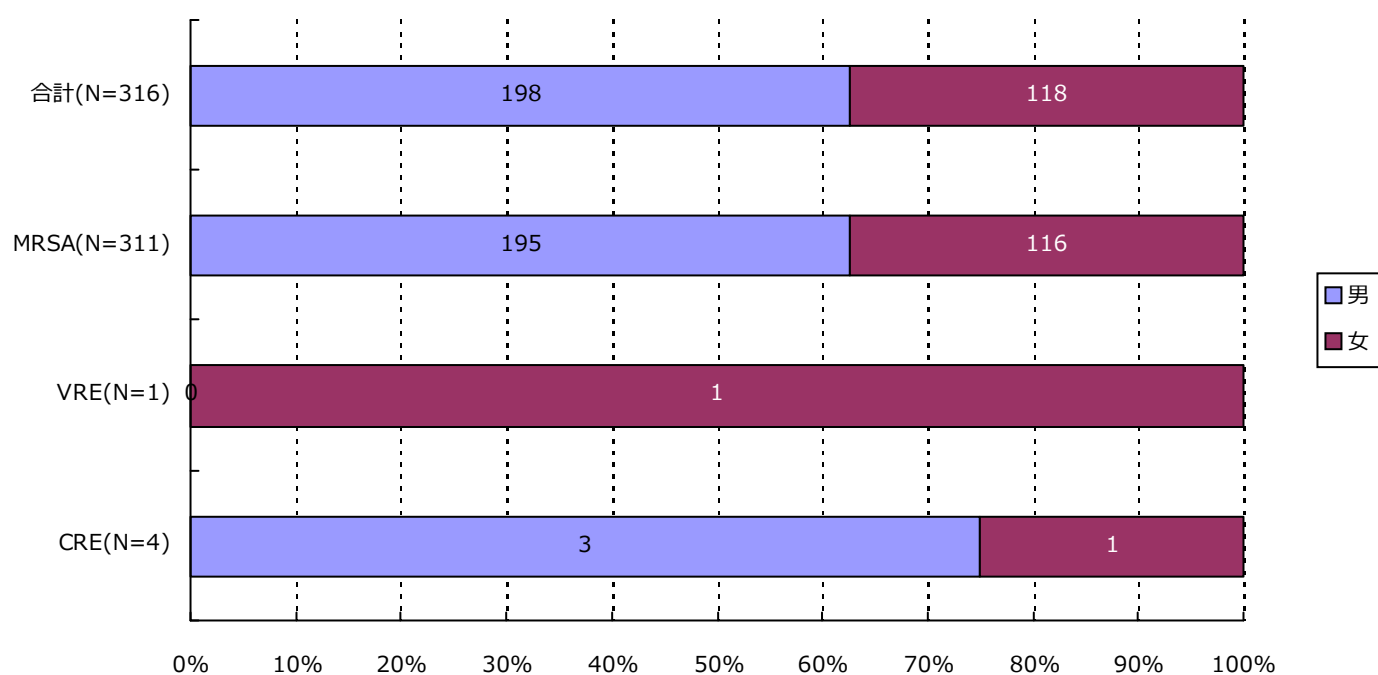
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	198 ( 62.7% )	195 ( 62.7% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	3 ( 75.0% )
女	118 ( 37.3% )	116 ( 37.3% )	0 ( - )	1 ( 100.0% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 25.0% )
合計	316	311	0	1	0	0	0	4

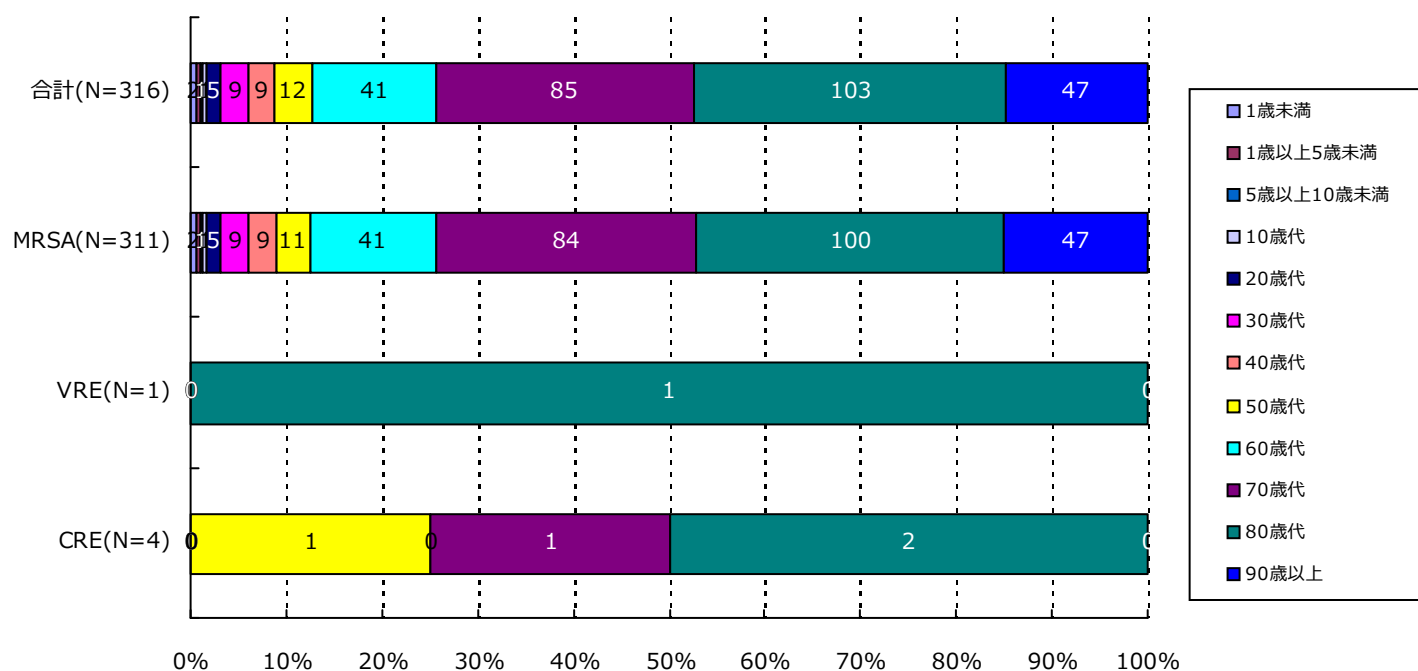
(京都府)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

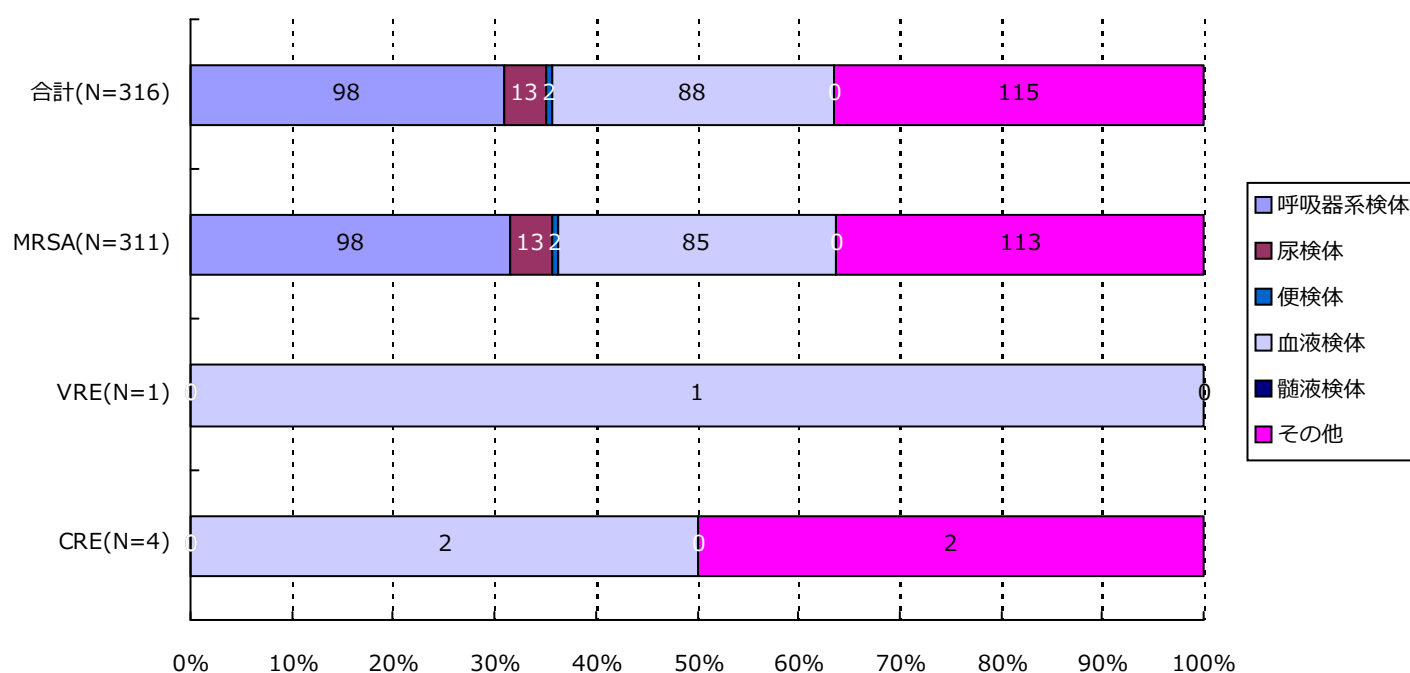


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2( 0.6%)	2( 0.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	1( 0.3%)	1( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	1( 0.3%)	1( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	1( 0.3%)	1( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	5( 1.6%)	5( 1.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	9( 2.8%)	9( 2.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	9( 2.8%)	9( 2.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	12( 3.8%)	11( 3.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
60歳代	41( 13.0%)	41( 13.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
70歳代	85( 26.9%)	84( 27.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
80歳代	103( 32.6%)	100( 32.2%)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)
90歳以上	47( 14.9%)	47( 15.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	316	311	0	1	0	0	0	4

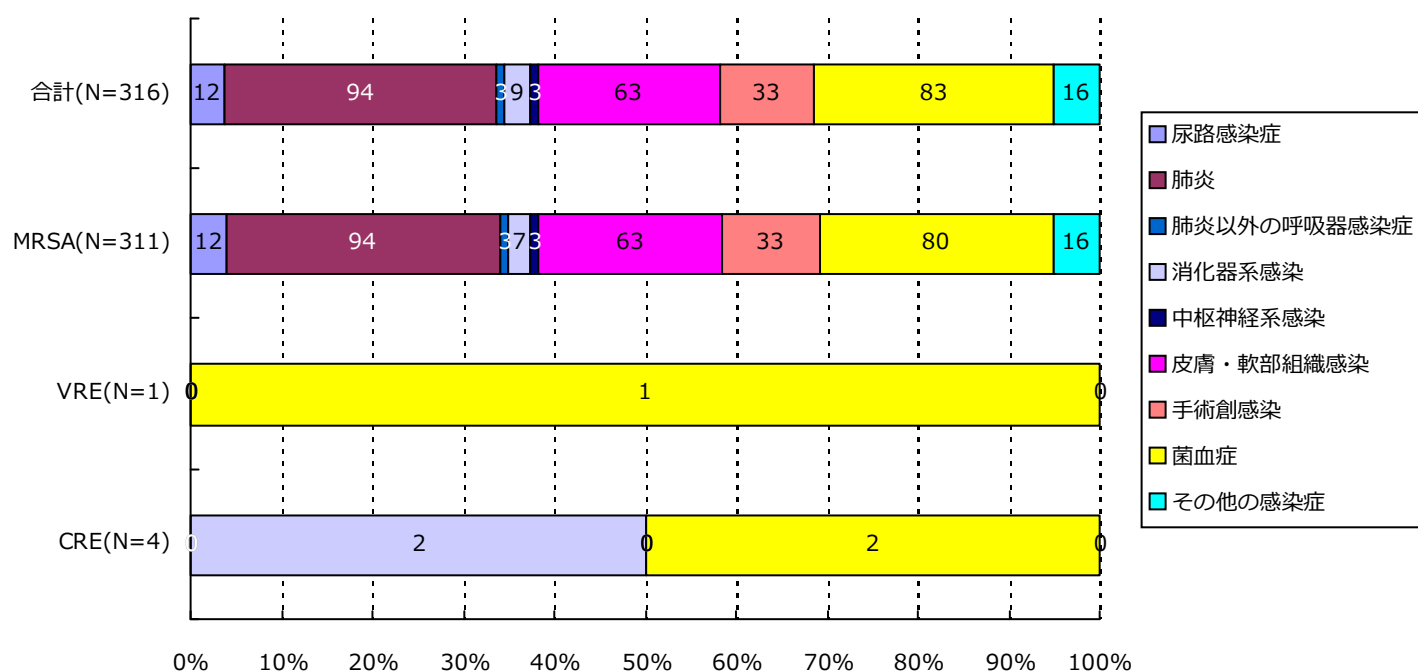
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	98( 31.0%)	98( 31.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
尿検体	13( 4.1%)	13( 4.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
便検体	2( 0.6%)	2( 0.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	88( 27.8%)	85( 27.3%)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)
髄液検体	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	115( 36.4%)	113( 36.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)
合計	316	311	0	1	0	0	0	4

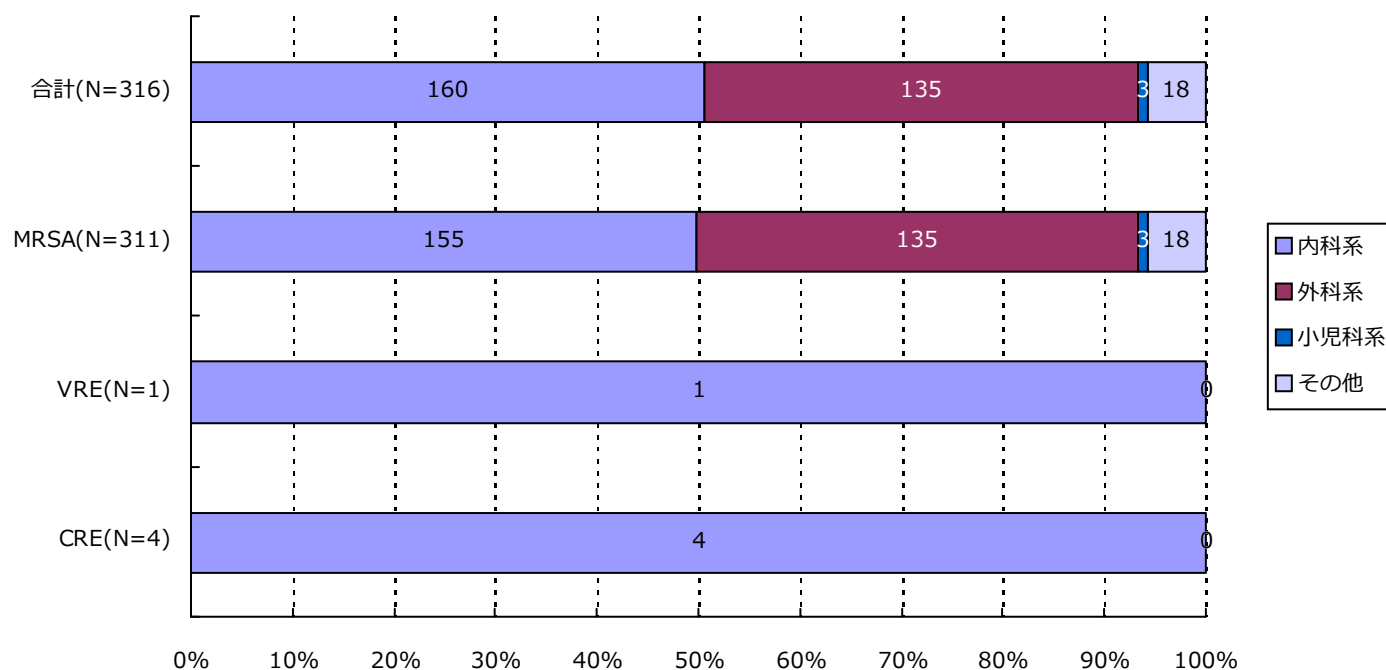
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	12( 3.8%)	12( 3.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎	94( 29.7%)	94( 30.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎以外	3( 0.9%)	3( 1.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	9( 2.8%)	7( 2.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)
中枢神経系	3( 0.9%)	3( 1.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	63( 19.9%)	63( 20.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	33( 10.4%)	33( 10.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	83( 26.3%)	80( 25.7%)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)
その他	16( 5.1%)	16( 5.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	316	311	0	1	0	0	0	4

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	160( 50.6%)	155( 49.8%)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	4( 100.0%)
外科系	135( 42.7%)	135( 43.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
小児科系	3( 0.9%)	3( 1.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	18( 5.7%)	18( 5.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	316	311	0	1	0	0	0	4

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

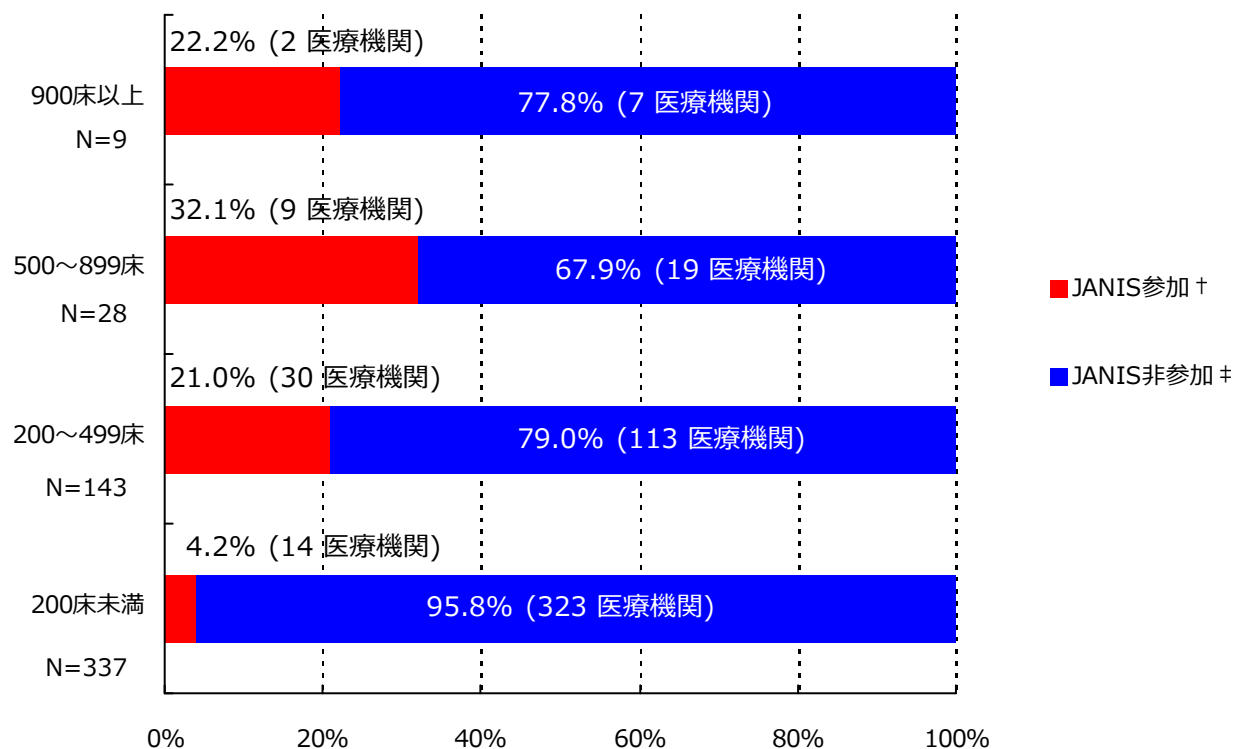
菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/mL* または CFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† LVFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

\* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠



## 1. データ提出医療機関\*数(55医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2019年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2018年 都道府県別医療機関数¶) - (2019年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2018年 都道府県別医療機関数¶	2019年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	9	2 ( 22.2%)
500～899床	28	9 ( 32.1%)
200～499床	143	30 ( 21%)
200床未満	337	14 ( 4.2%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	517	55 ( 10.6%)

¶2018年医療施設（動態）調査を参照した。

(大阪府)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

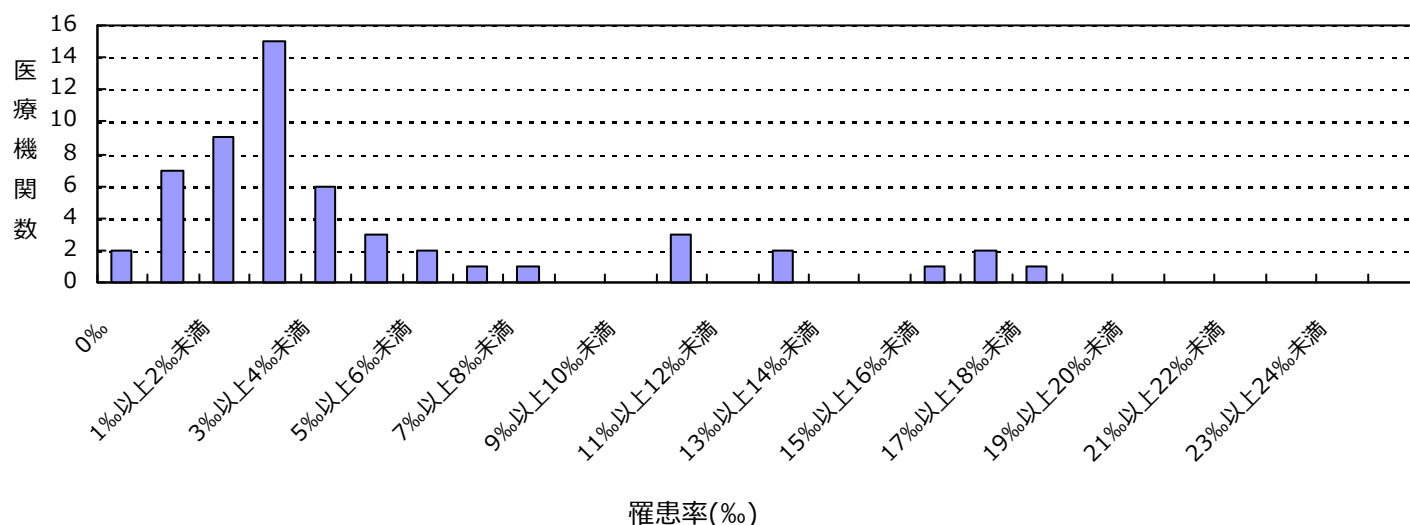


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	421,523	12	1,200	2.85%	0.00 2.55 17.83  -----

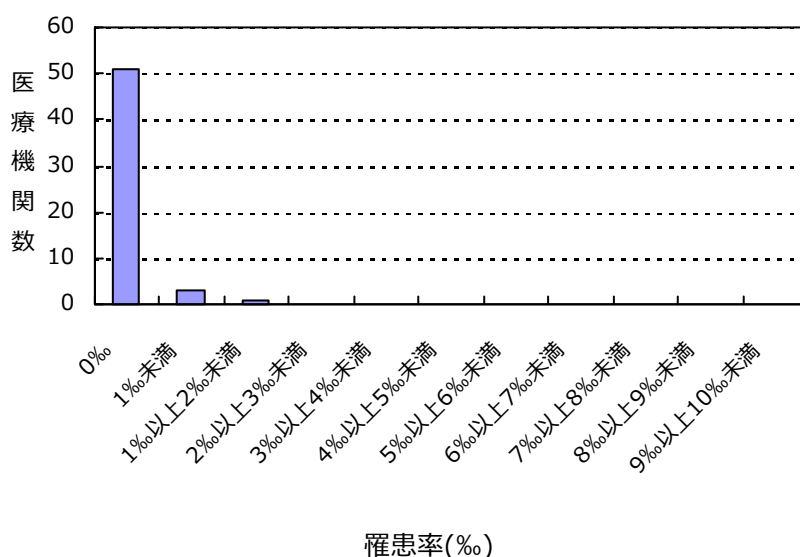
集計対象医療機関の罹患率(N=55)



### バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	421,523	0	4	0.01%	0.00 0.00 1.03  -----

集計対象医療機関の罹患率(N=55)

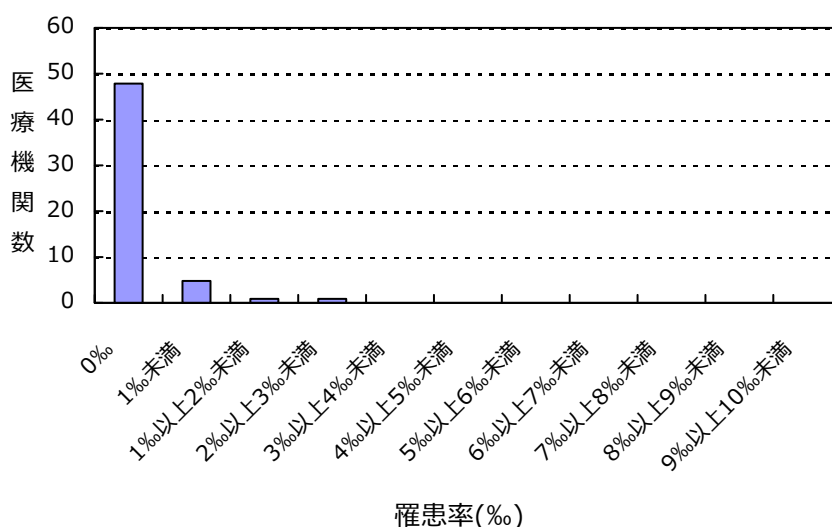


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	421,523	0	65	0.15%	0.00 0.00 2.55 H

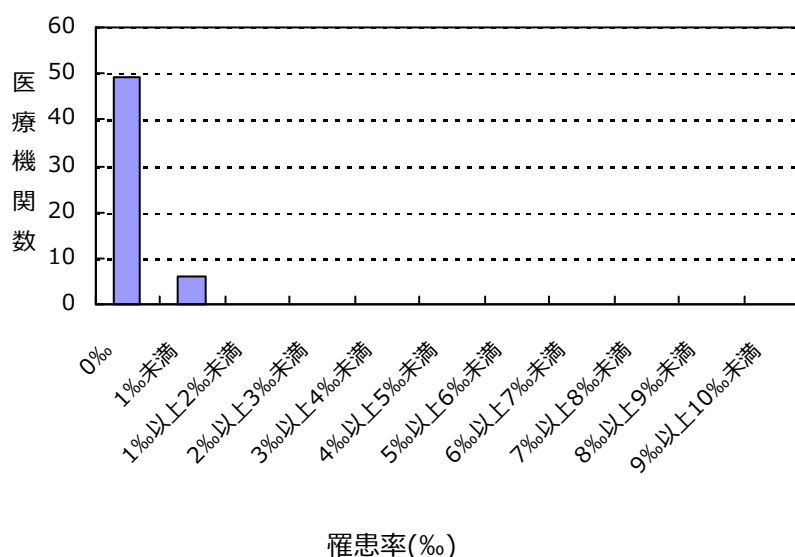
集計対象医療機関の罹患率(N=55)



### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	421,523	0	7	0.02%	0.00 0.00 0.18 H

集計対象医療機関の罹患率(N=55)



(大阪府)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

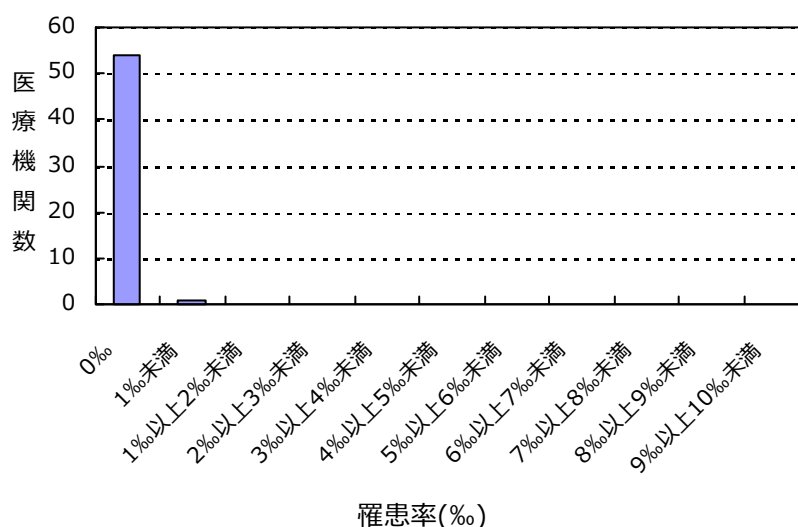


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### 多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRA	421,523	0	1	0.00‰	0.00 0.00 0.06

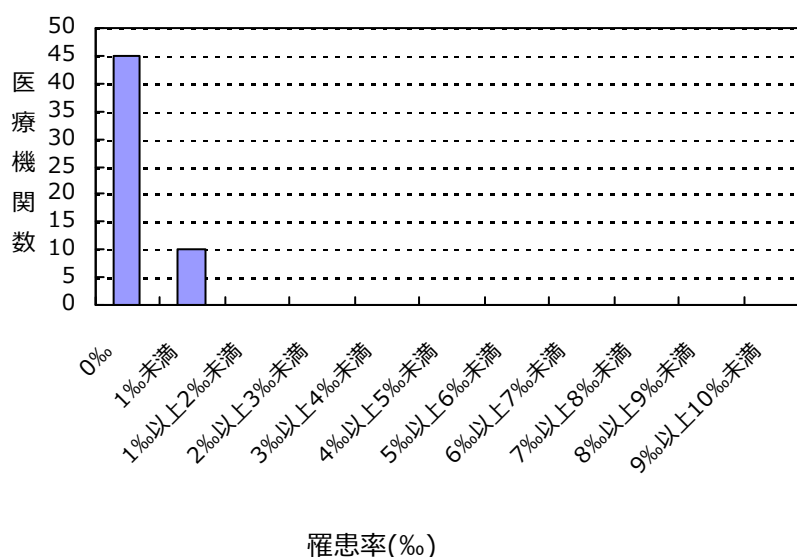
集計対象医療機関の罹患率(N=55)



### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	421,523	0	24	0.06‰	0.00 0.00 0.67

集計対象医療機関の罹患率(N=55)



(大阪府)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

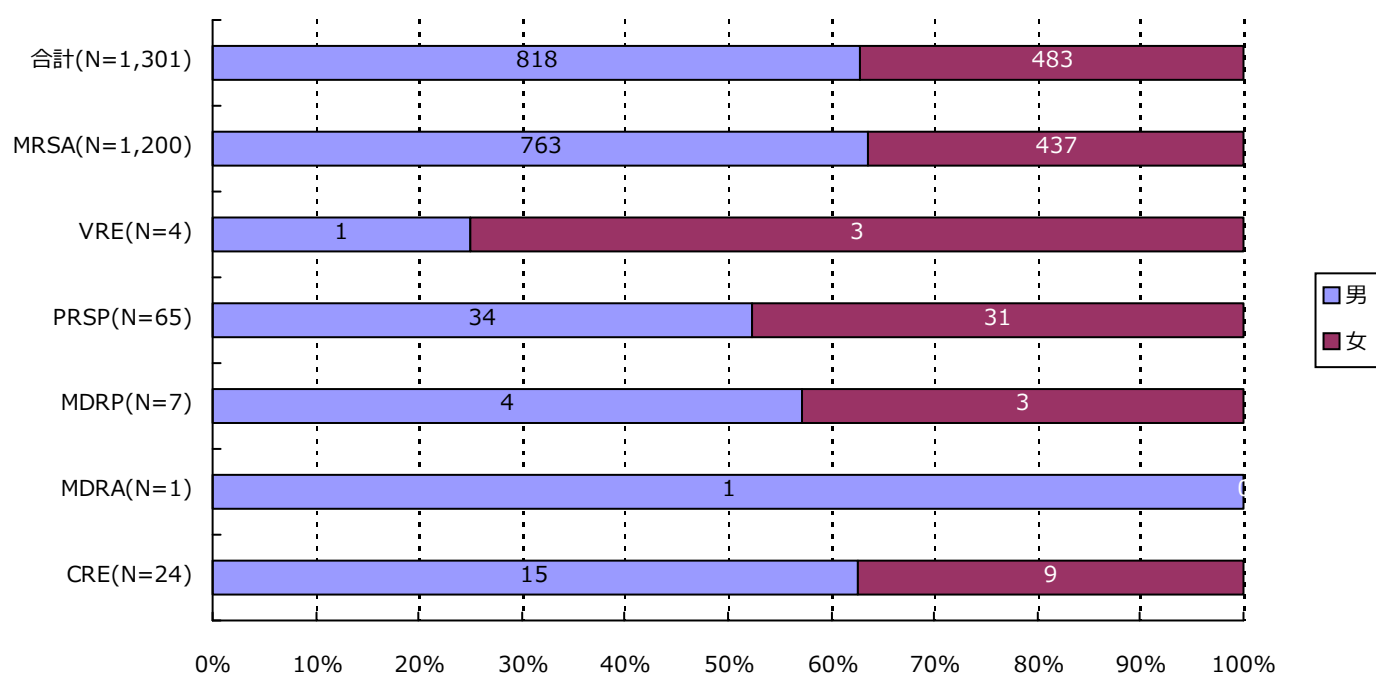
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

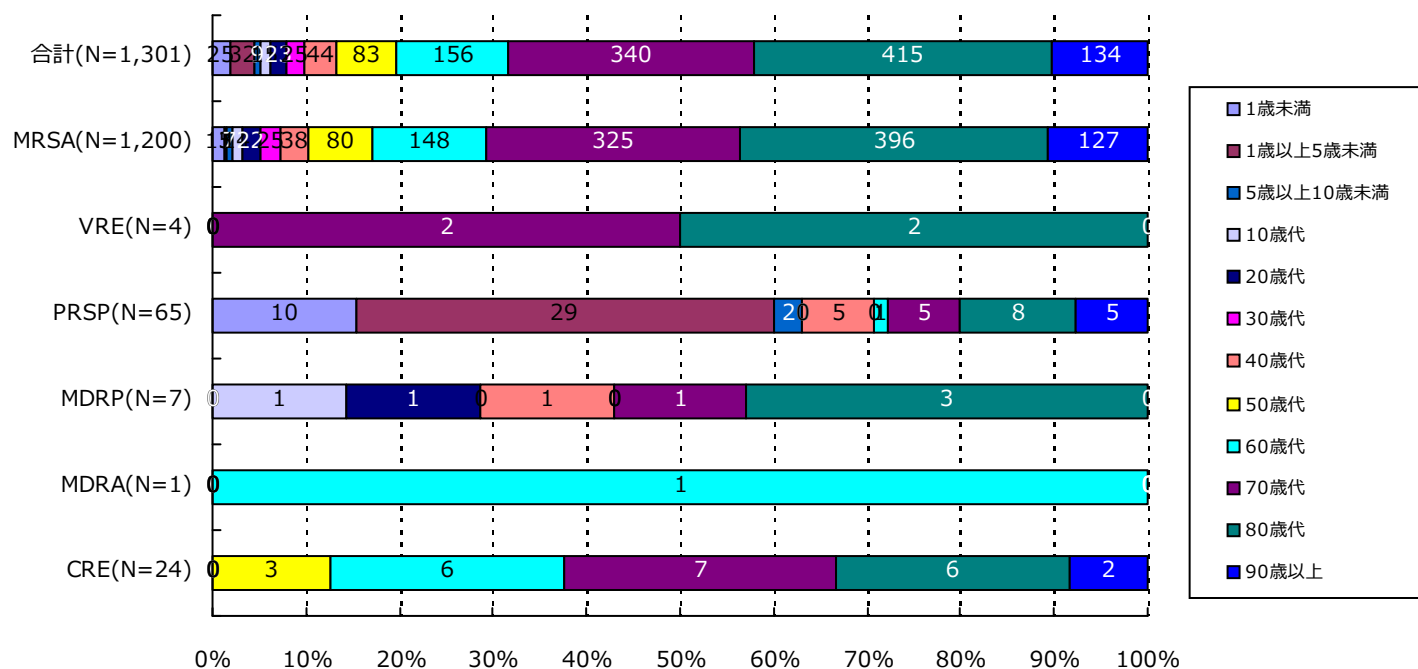
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



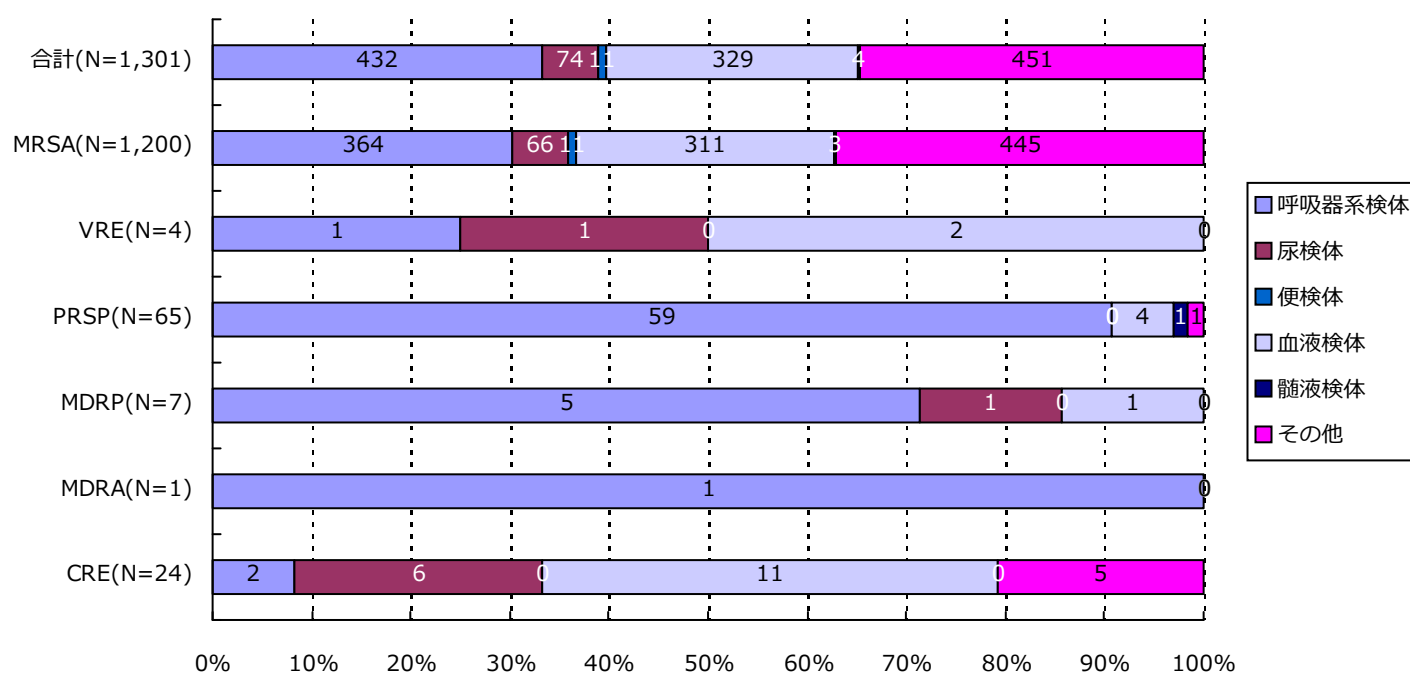
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	818 ( 62.9% )	763 ( 63.6% )	0 ( - )	1 ( 25.0% )	34 ( 52.3% )	4 ( 57.1% )	1 ( 100.0% )	15 ( 62.5% )
女	483 ( 37.1% )	437 ( 36.4% )	0 ( - )	3 ( 75.0% )	31 ( 47.7% )	3 ( 42.9% )	0 ( - )	9 ( 37.5% )
合計	1,301	1,200	0	4	65	7	1	24

#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	25( 1.9%)	15( 1.3%)	0( -)	0( -)	10( 15.4%)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	32( 2.5%)	3( 0.3%)	0( -)	0( -)	29( 44.6%)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	9( 0.7%)	7( 0.6%)	0( -)	0( -)	2( 3.1%)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	15( 1.2%)	14( 1.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 14.3%)	0( -)	0( -)
20歳代	23( 1.8%)	22( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 14.3%)	0( -)	0( -)
30歳代	25( 1.9%)	25( 2.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	44( 3.4%)	38( 3.2%)	0( -)	0( -)	5( 7.7%)	1( 14.3%)	0( -)	0( -)
50歳代	83( 6.4%)	80( 6.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	3( 12.5%)
60歳代	156( 12.0%)	148( 12.3%)	0( -)	0( -)	1( 1.5%)	0( -)	1( 100.0%)	6( 25.0%)
70歳代	340( 26.1%)	325( 27.1%)	0( -)	2( 50.0%)	5( 7.7%)	1( 14.3%)	0( -)	7( 29.2%)
80歳代	415( 31.9%)	396( 33.0%)	0( -)	2( 50.0%)	8( 12.3%)	3( 42.9%)	0( -)	6( 25.0%)
90歳以上	134( 10.3%)	127( 10.6%)	0( -)	0( -)	5( 7.7%)	0( -)	0( -)	2( 8.3%)
合計	1,301	1,200	0	4	65	7	1	24

## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳

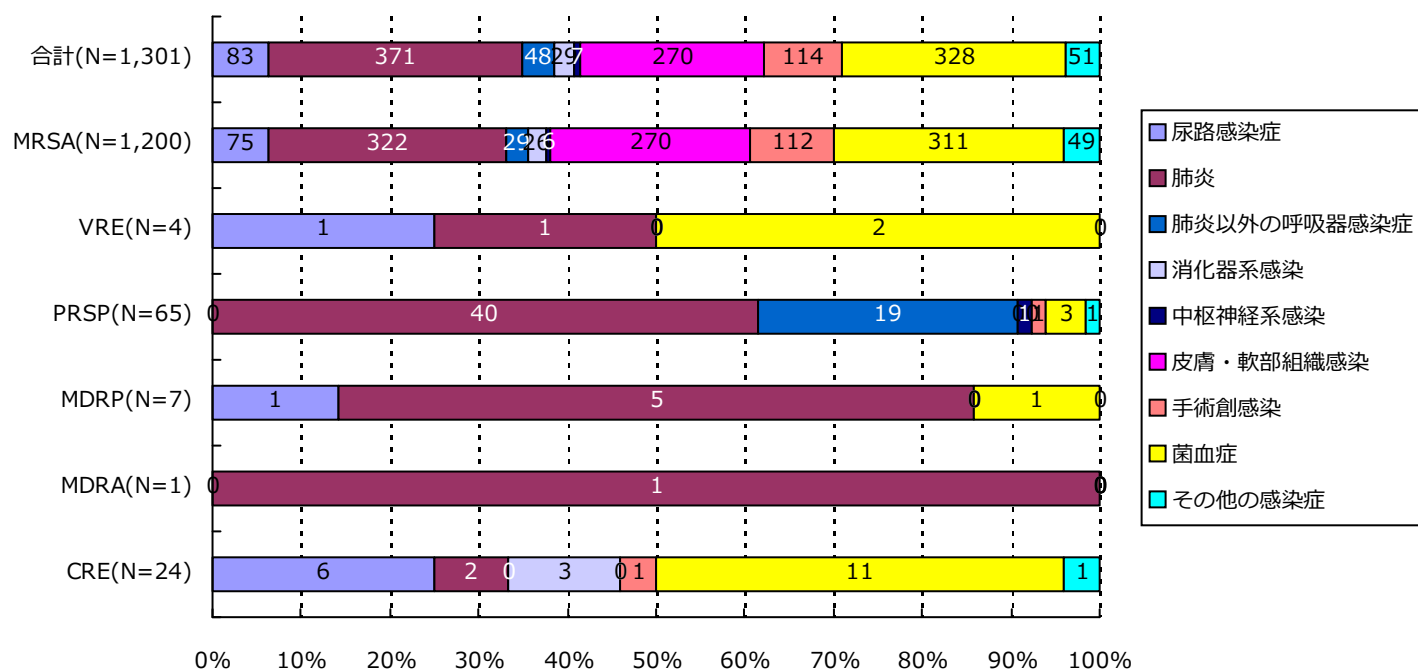


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	432( 33.2%)	364( 30.3%)	0( -)	1( 25.0%)	59( 90.8%)	5( 71.4%)	1( 100.0%)	2( 8.3%)
尿検体	74( 5.7%)	66( 5.5%)	0( -)	1( 25.0%)	0( -)	1( 14.3%)	0( -)	6( 25.0%)
便検体	11( 0.8%)	11( 0.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	329( 25.3%)	311( 25.9%)	0( -)	2( 50.0%)	4( 6.2%)	1( 14.3%)	0( -)	11( 45.8%)
髄液検体	4( 0.3%)	3( 0.3%)	0( -)	0( -)	1( 1.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	451( 34.7%)	445( 37.1%)	0( -)	0( -)	1( 1.5%)	0( -)	0( -)	5( 20.8%)
合計	1,301	1,200	0	4	65	7	1	24

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

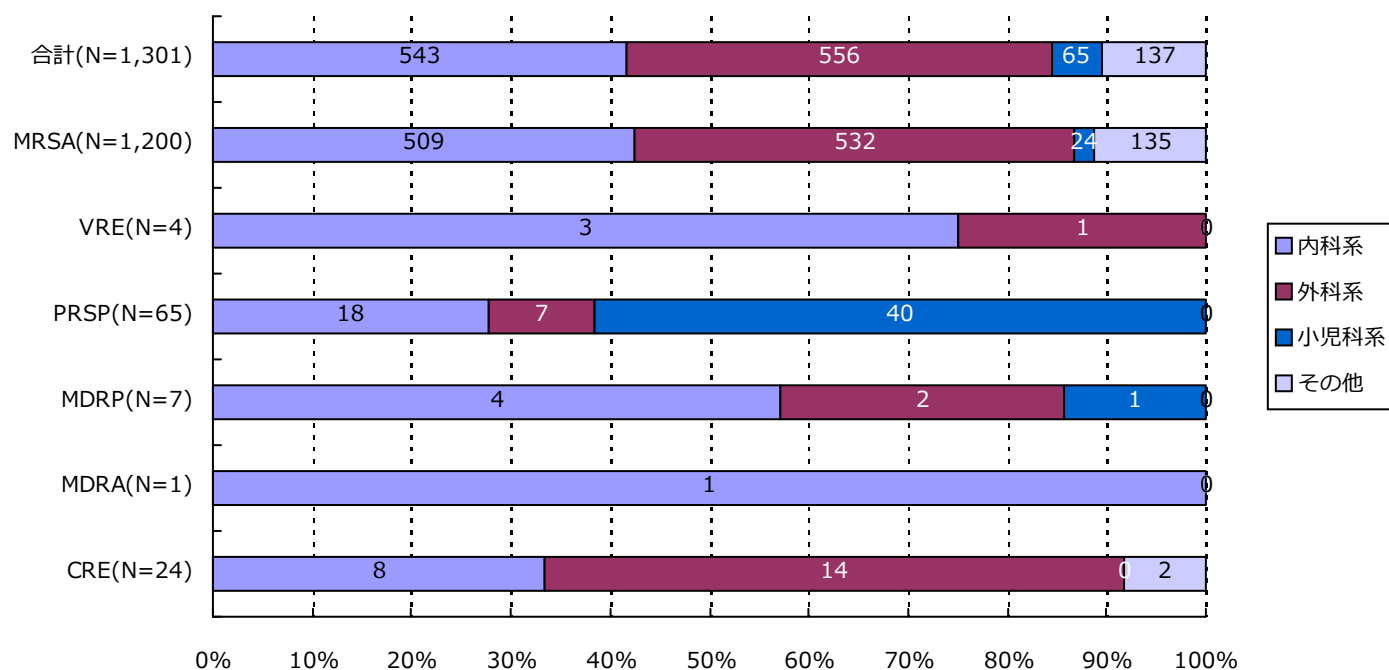


## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	83( 6.4%)	75( 6.3%)	0( -)	1( 25.0%)	0( -)	1( 14.3%)	0( -)	6( 25.0%)
肺炎	371( 28.5%)	322( 26.8%)	0( -)	1( 25.0%)	40( 61.5%)	5( 71.4%)	1( 100.0%)	2( 8.3%)
肺炎以外	48( 3.7%)	29( 2.4%)	0( -)	0( -)	19( 29.2%)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	29( 2.2%)	26( 2.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	3( 12.5%)
中枢神経系	7( 0.5%)	6( 0.5%)	0( -)	0( -)	1( 1.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	270( 20.8%)	270( 22.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	114( 8.8%)	112( 9.3%)	0( -)	0( -)	1( 1.5%)	0( -)	0( -)	1( 4.2%)
菌血症	328( 25.2%)	311( 25.9%)	0( -)	2( 50.0%)	3( 4.6%)	1( 14.3%)	0( -)	11( 45.8%)
その他	51( 3.9%)	49( 4.1%)	0( -)	0( -)	1( 1.5%)	0( -)	0( -)	1( 4.2%)
合計	1,301	1,200	0	4	65	7	1	24

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	543( 41.7%)	509( 42.4%)	0( -)	3( 75.0%)	18( 27.7%)	4( 57.1%)	1( 100.0%)	8( 33.3%)
外科系	556( 42.7%)	532( 44.3%)	0( -)	1( 25.0%)	7( 10.8%)	2( 28.6%)	0( -)	14( 58.3%)
小児科系	65( 5.0%)	24( 2.0%)	0( -)	0( -)	40( 61.5%)	1( 14.3%)	0( -)	0( -)
その他	137( 10.5%)	135( 11.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 8.3%)
合計	1,301	1,200	0	4	65	7	1	24

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

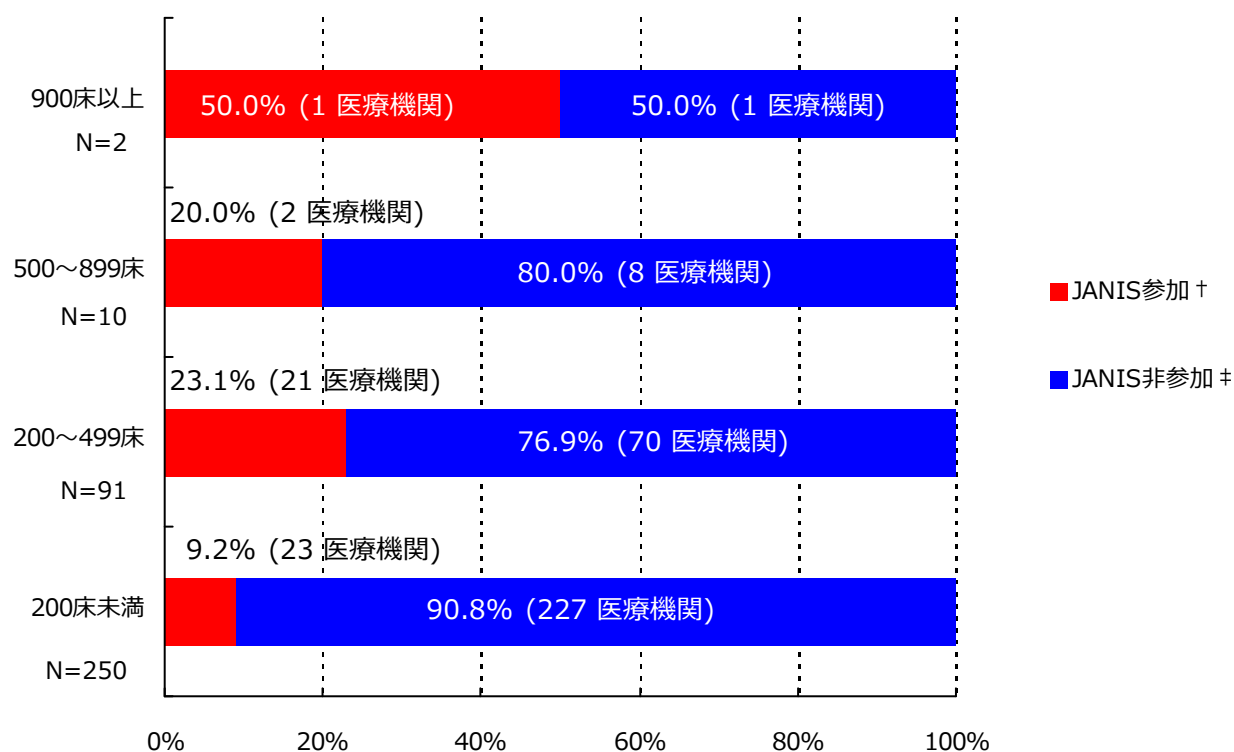
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/mL* または CFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† LVFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

\* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

## 1. データ提出医療機関\*数(47医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2019年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2018年 都道府県別医療機関数¶) - (2019年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2018年 都道府県別医療機関数¶	2019年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 ( 50%)
500～899床	10	2 ( 20%)
200～499床	91	21 ( 23.1%)
200床未満	250	23 ( 9.2%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	353	47 ( 13.3%)

¶2018年医療施設（動態）調査を参照した。

(兵庫県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

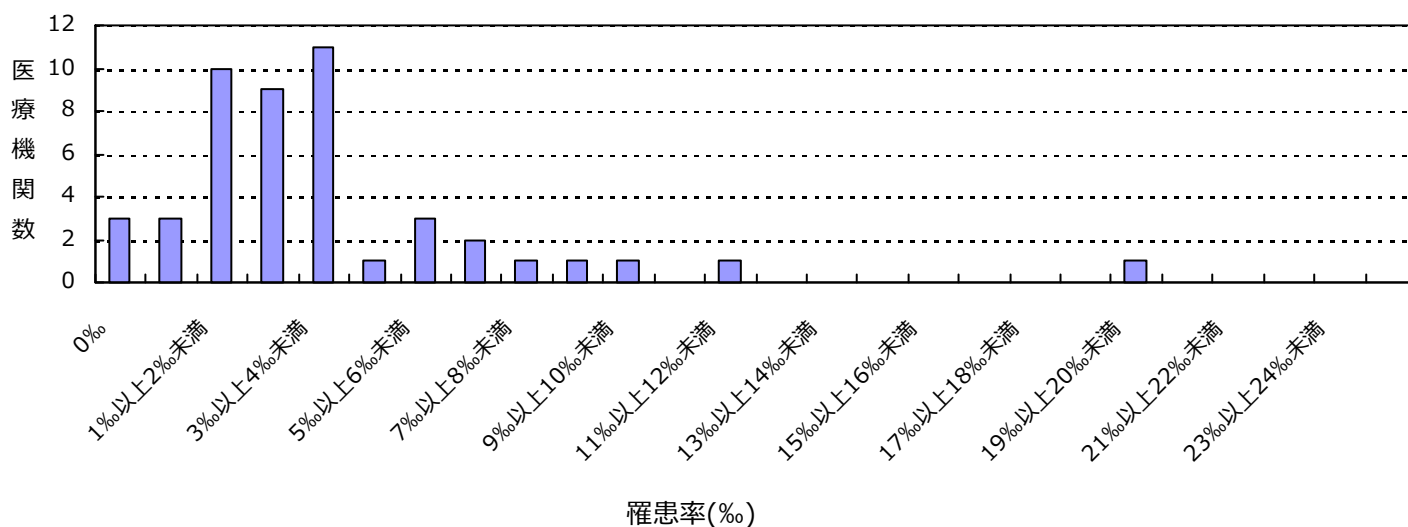


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	273,113	6	871	3.19%	0.00 2.63 19.05   H    -----

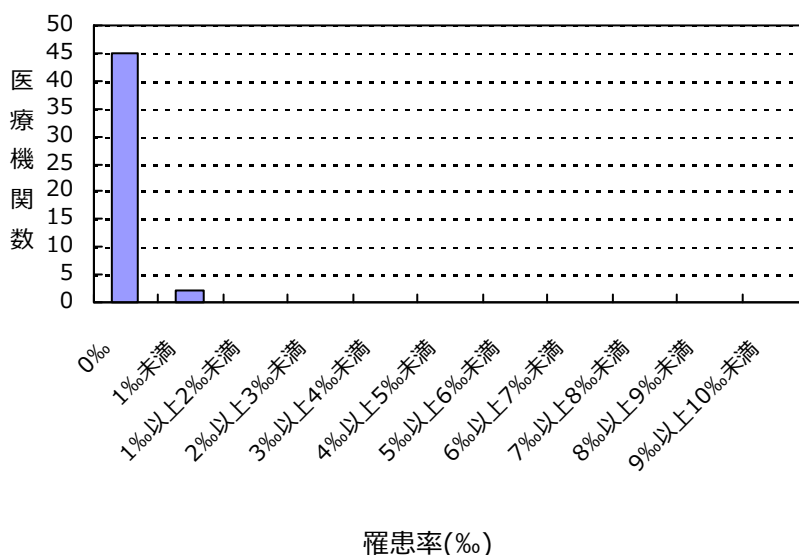
集計対象医療機関の罹患率(N=47)



### バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	273,113	0	2	0.01%	0.00 0.00 0.32      -----

集計対象医療機関の罹患率(N=47)



(兵庫県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

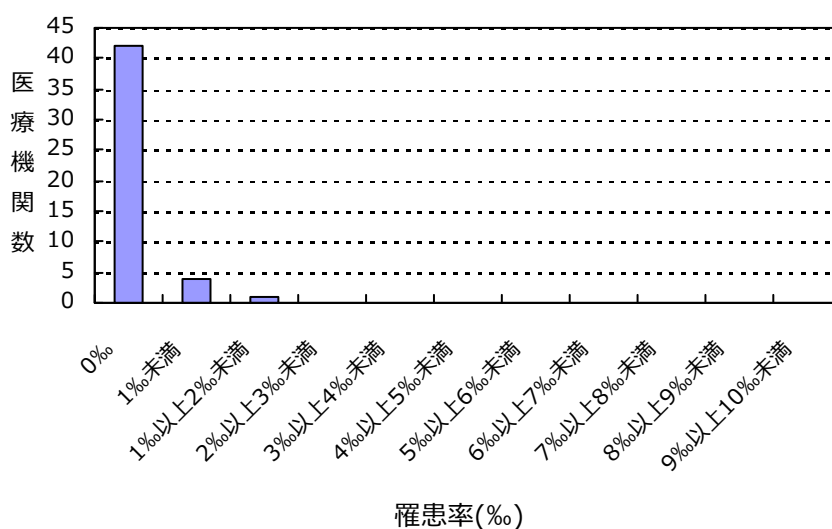


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	273,113	0	15	0.05%	0.00 0.00 1.35 H

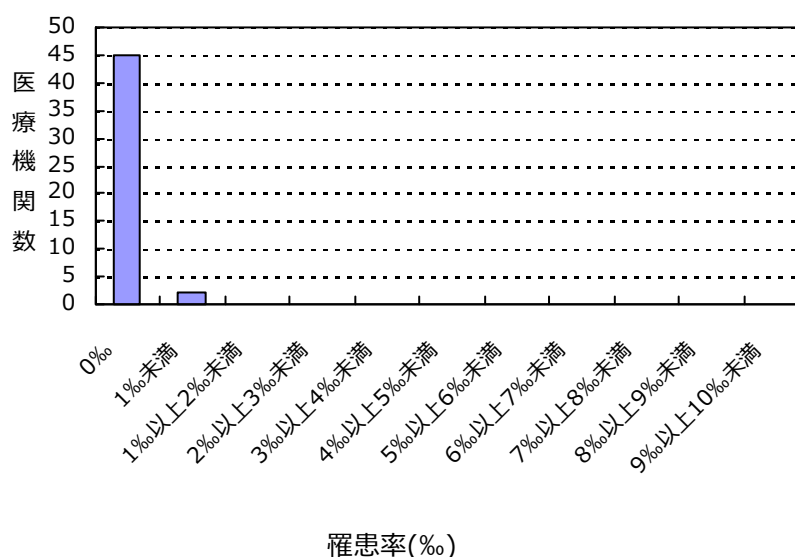
集計対象医療機関の罹患率(N=47)



### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	273,113	0	2	0.01%	0.00 0.00 0.12 

集計対象医療機関の罹患率(N=47)



(兵庫県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

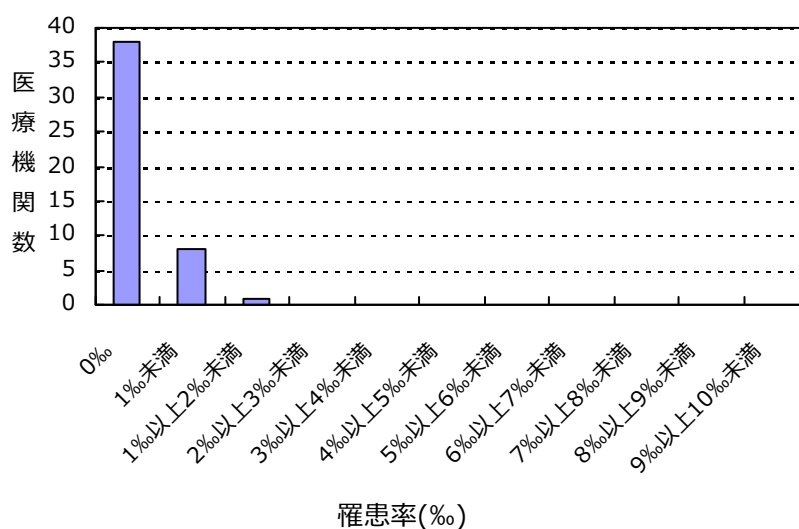


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	273,113	0	54	0.20‰	0.00 0.00 1.79

集計対象医療機関の罹患率(N=47)





(兵庫県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

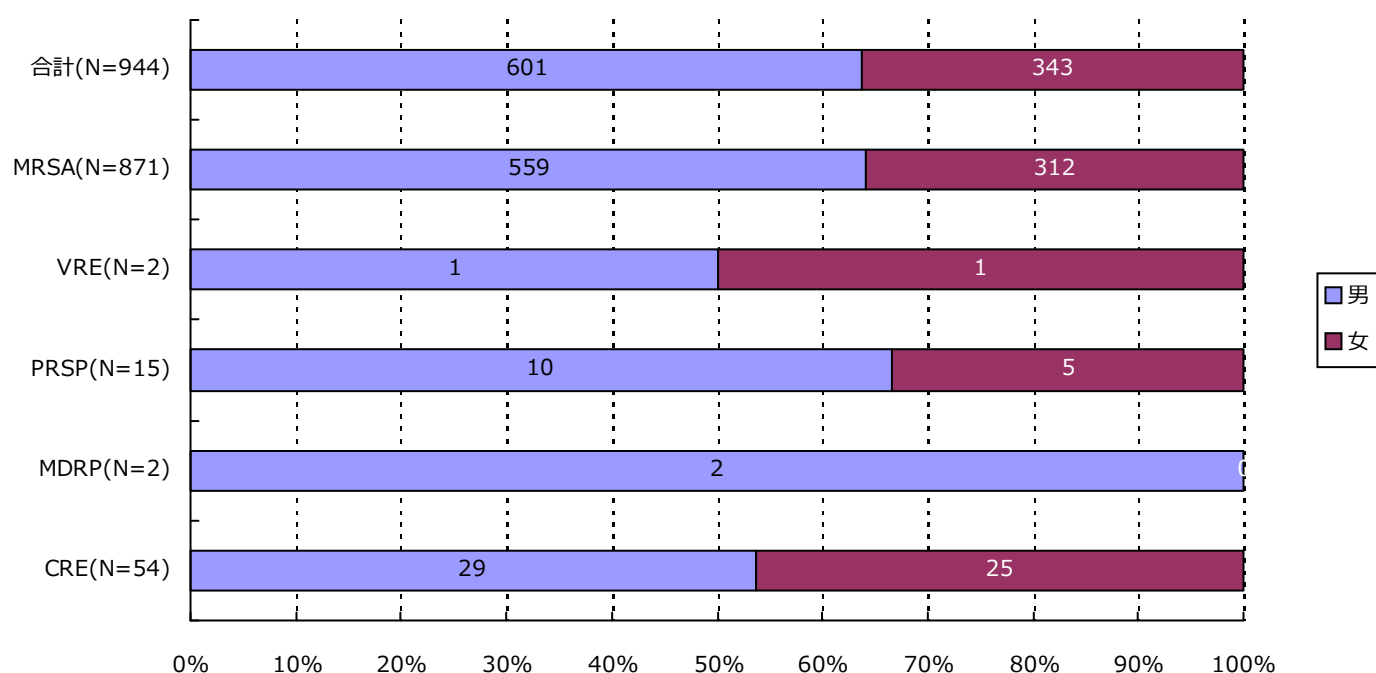
(兵庫県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	601 ( 63.7% )	559 ( 64.2% )	0 ( - )	1 ( 50.0% )	10 ( 66.7% )	2 ( 100.0% )	0 ( - )	29 ( 53.7% )
女	343 ( 36.3% )	312 ( 35.8% )	0 ( - )	1 ( 50.0% )	5 ( 33.3% )	0 ( - )	0 ( - )	25 ( 46.3% )
合計	944	871	0	2	15	2	0	54

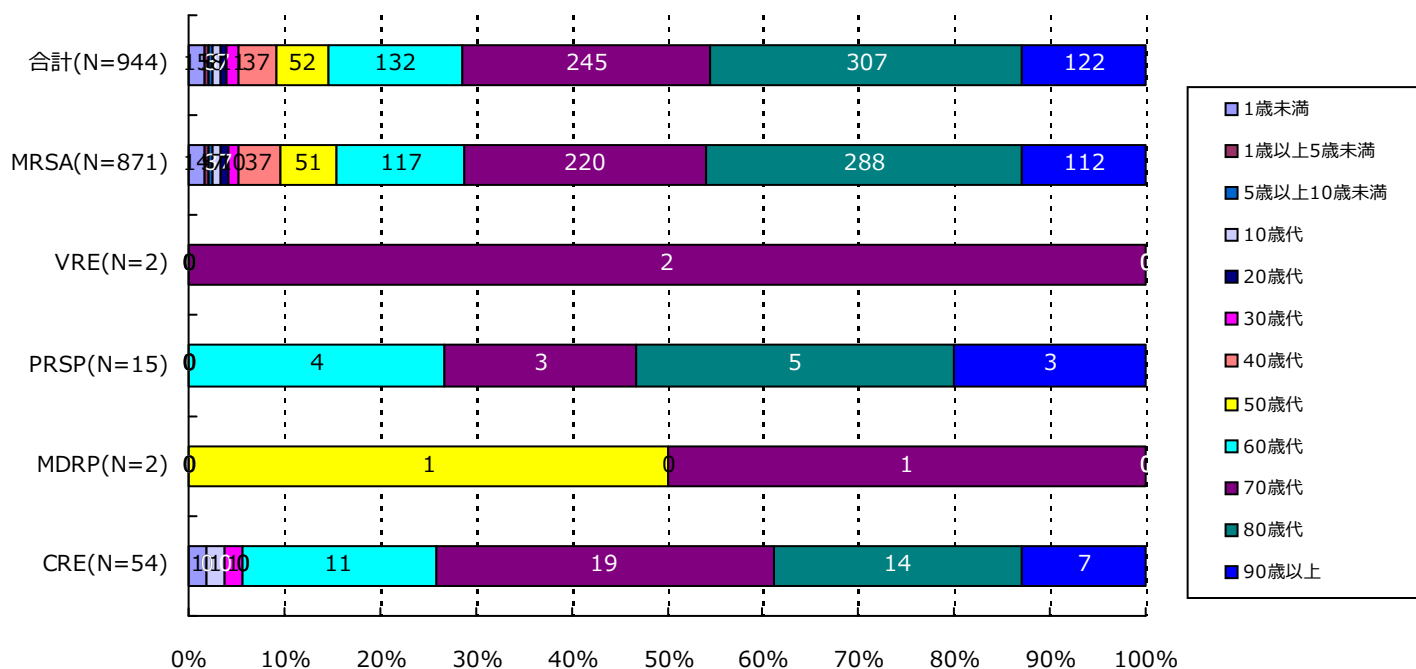
(兵庫県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	15( 1.6%)	14( 1.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 1.9%)
1歳以上5歳未満	5( 0.5%)	5( 0.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	3( 0.3%)	3( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	8( 0.8%)	7( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 1.9%)
20歳代	7( 0.7%)	7( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	11( 1.2%)	10( 1.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 1.9%)
40歳代	37( 3.9%)	37( 4.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	52( 5.5%)	51( 5.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)
60歳代	132( 14.0%)	117( 13.4%)	0( -)	0( -)	4( 26.7%)	0( -)	0( -)	11( 20.4%)
70歳代	245( 26.0%)	220( 25.3%)	0( -)	2( 100.0%)	3( 20.0%)	1( 50.0%)	0( -)	19( 35.2%)
80歳代	307( 32.5%)	288( 33.1%)	0( -)	0( -)	5( 33.3%)	0( -)	0( -)	14( 25.9%)
90歳以上	122( 12.9%)	112( 12.9%)	0( -)	0( -)	3( 20.0%)	0( -)	0( -)	7( 13.0%)
合計	944	871	0	2	15	2	0	54

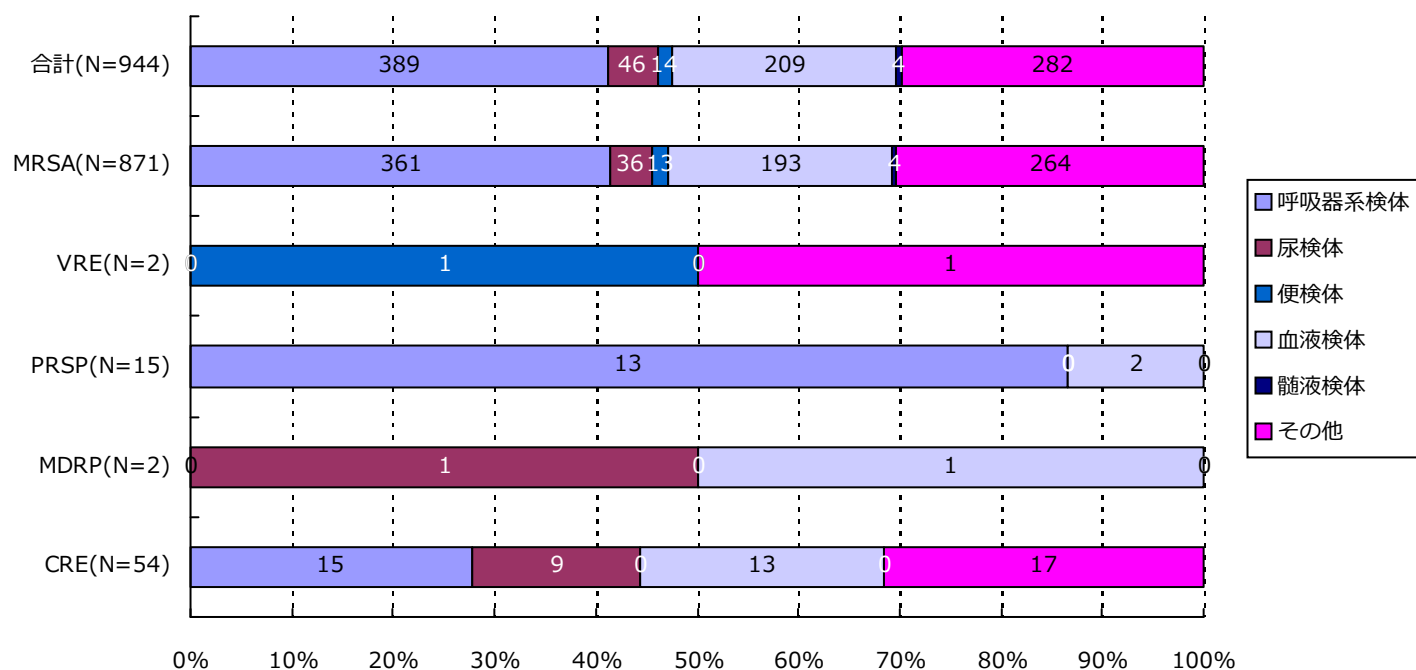
(兵庫県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



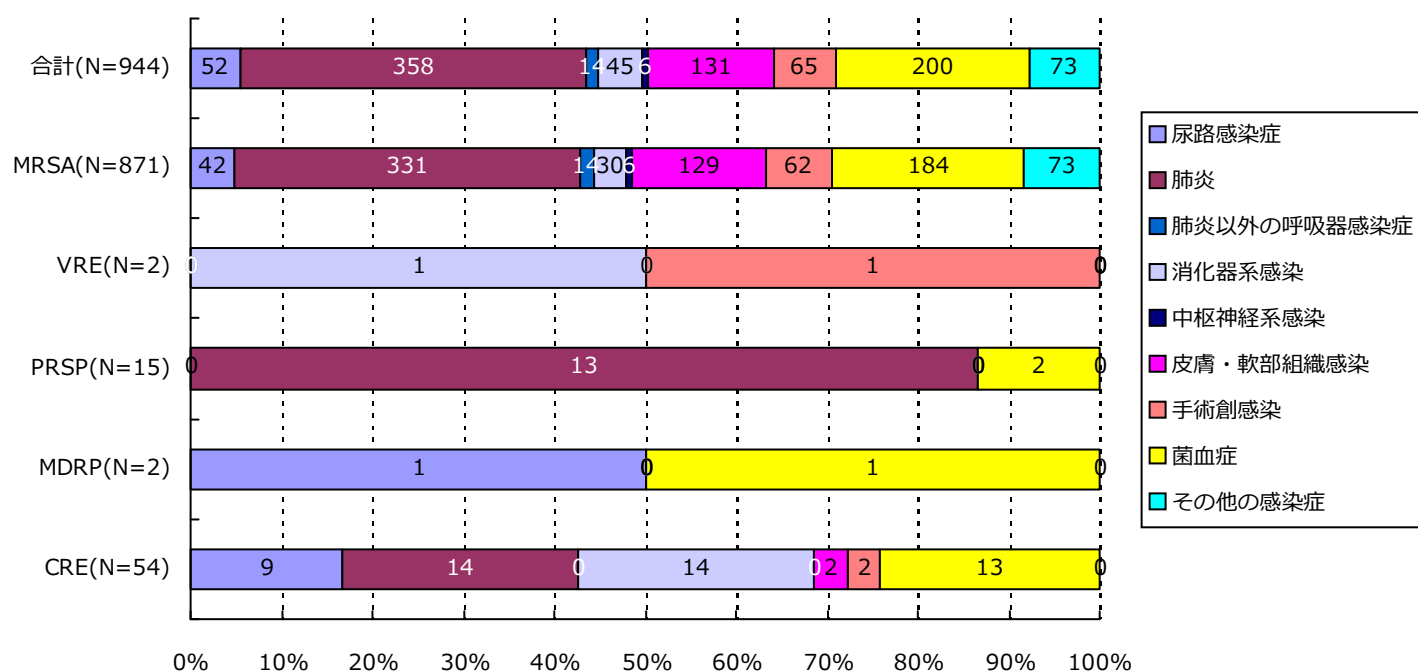
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	389( 41.2%)	361( 41.4%)	0( -)	0( -)	13( 86.7%)	0( -)	0( -)	15( 27.8%)
尿検体	46( 4.9%)	36( 4.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	9( 16.7%)
便検体	14( 1.5%)	13( 1.5%)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	209( 22.1%)	193( 22.2%)	0( -)	0( -)	2( 13.3%)	1( 50.0%)	0( -)	13( 24.1%)
髄液検体	4( 0.4%)	4( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	282( 29.9%)	264( 30.3%)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	17( 31.5%)
合計	944	871	0	2	15	2	0	54

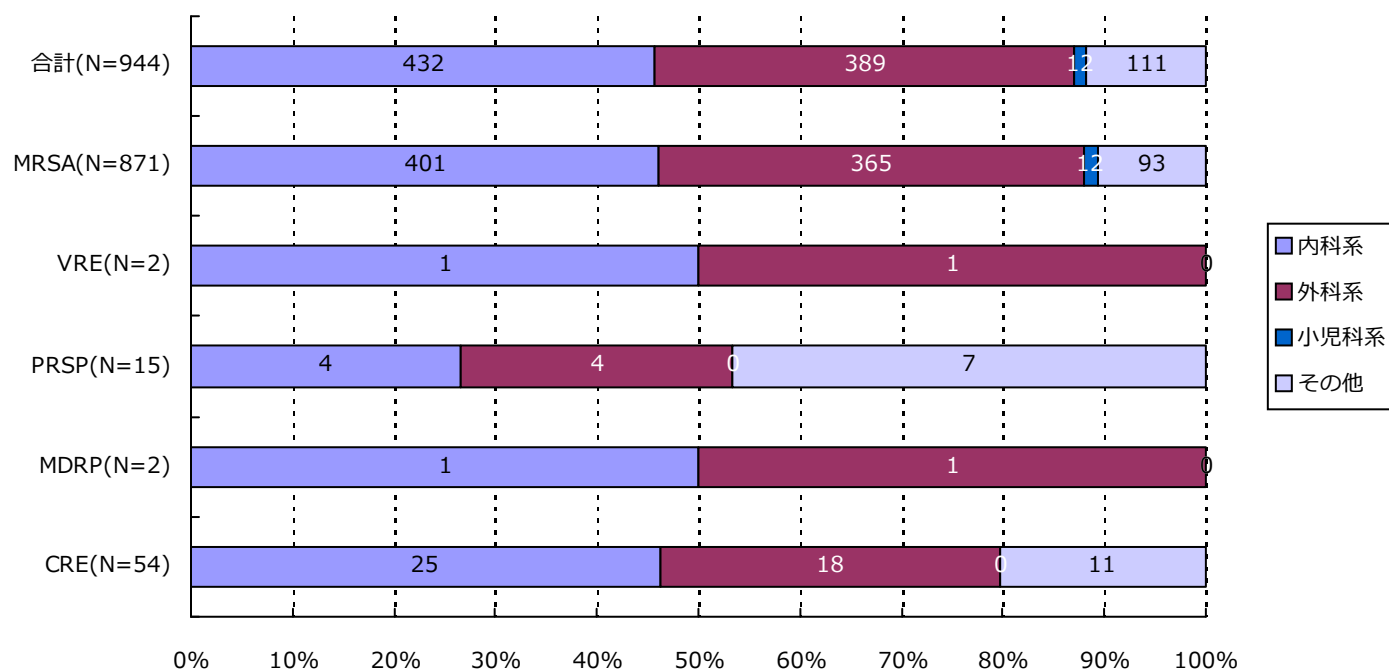
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	52( 5.5%)	42( 4.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	9( 16.7%)
肺炎	358( 37.9%)	331( 38.0%)	0( -)	0( -)	13( 86.7%)	0( -)	0( -)	14( 25.9%)
肺炎以外	14( 1.5%)	14( 1.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	45( 4.8%)	30( 3.4%)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	14( 25.9%)
中枢神経系	6( 0.6%)	6( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	131( 13.9%)	129( 14.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 3.7%)
手術創	65( 6.9%)	62( 7.1%)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 3.7%)
菌血症	200( 21.2%)	184( 21.1%)	0( -)	0( -)	2( 13.3%)	1( 50.0%)	0( -)	13( 24.1%)
その他	73( 7.7%)	73( 8.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	944	871	0	2	15	2	0	54

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	432( 45.8%)	401( 46.0%)	0( -)	1( 50.0%)	4( 26.7%)	1( 50.0%)	0( -)	25( 46.3%)
外科系	389( 41.2%)	365( 41.9%)	0( -)	1( 50.0%)	4( 26.7%)	1( 50.0%)	0( -)	18( 33.3%)
小児科系	12( 1.3%)	12( 1.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	111( 11.8%)	93( 10.7%)	0( -)	0( -)	7( 46.7%)	0( -)	0( -)	11( 20.4%)
合計	944	871	0	2	15	2	0	54

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
小児科系	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
周産期センター	

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

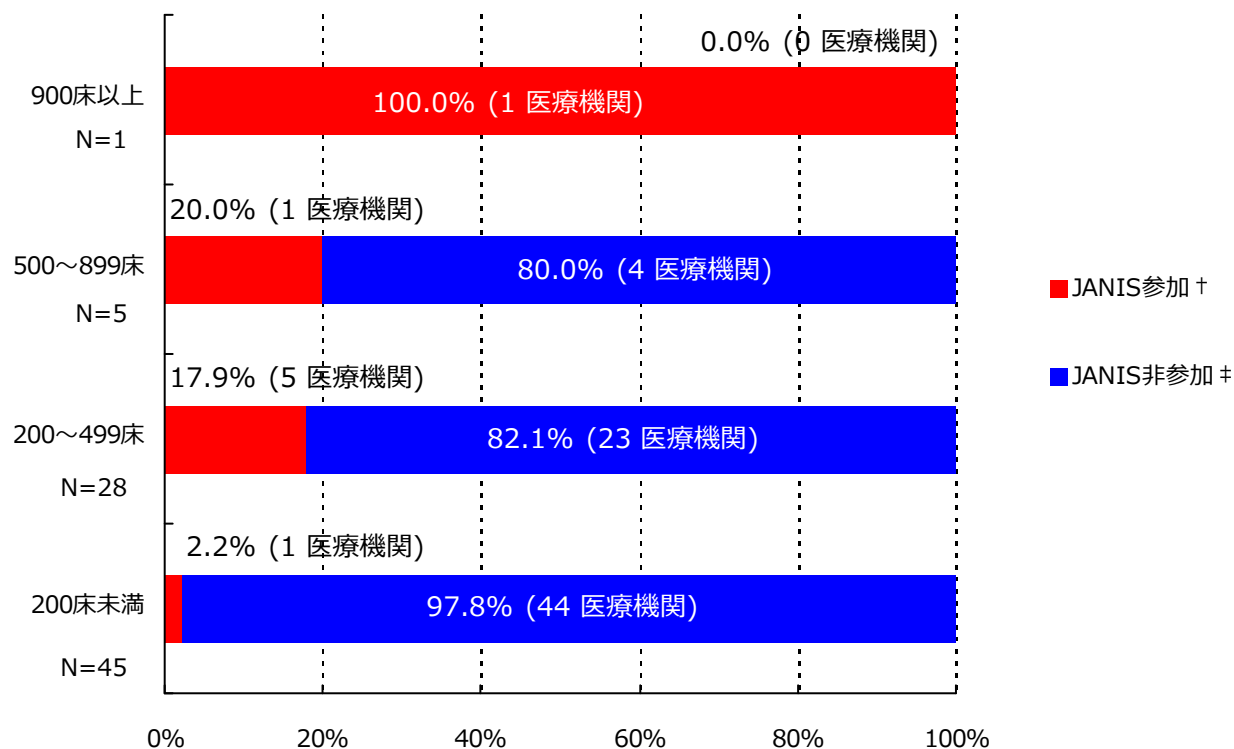
菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/mL* または CFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† LVFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

\* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠



## 1. データ提出医療機関\*数(8医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2019年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2018年 都道府県別医療機関数¶) - (2019年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2018年 都道府県別医療機関数¶	2019年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	1	1 ( 100%)
500～899床	5	1 ( 20%)
200～499床	28	5 ( 17.9%)
200床未満	45	1 ( 2.2%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	79	8 ( 10.1%)

¶2018年医療施設（動態）調査を参照した。

(奈良県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

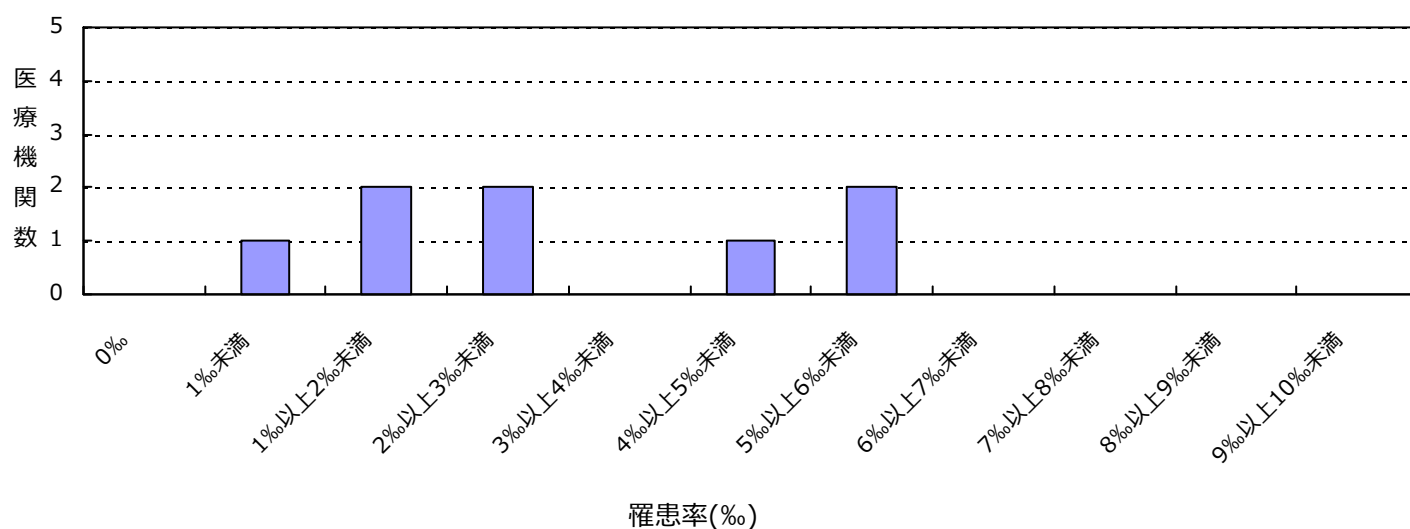


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	62,883	2	250	3.98%	0.29 2.78 5.76

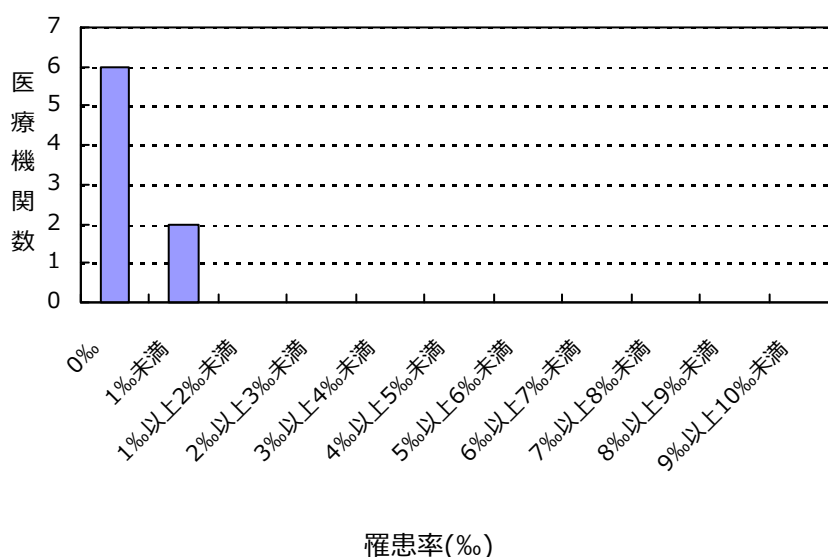
集計対象医療機関の罹患率(N=8)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	62,883	0	19	0.30%	0.00 0.00 0.82

集計対象医療機関の罹患率(N=8)



(奈良県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

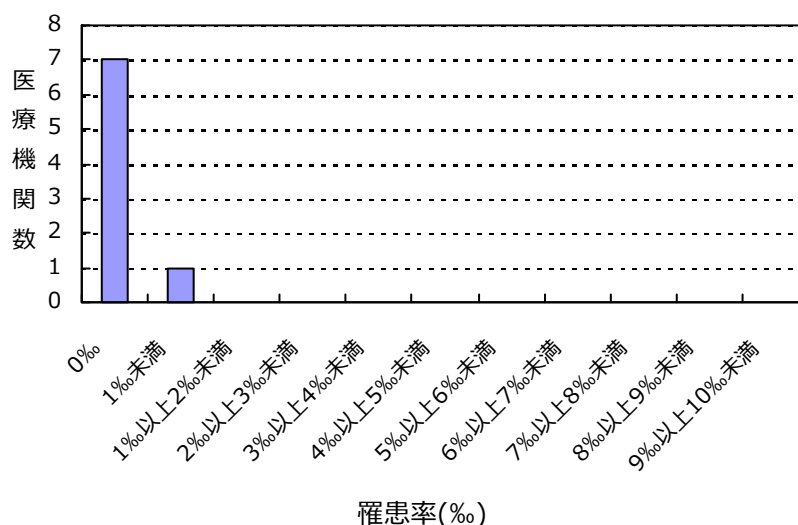


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	62,883	0	3	0.05%	0.00 0.00 0.18

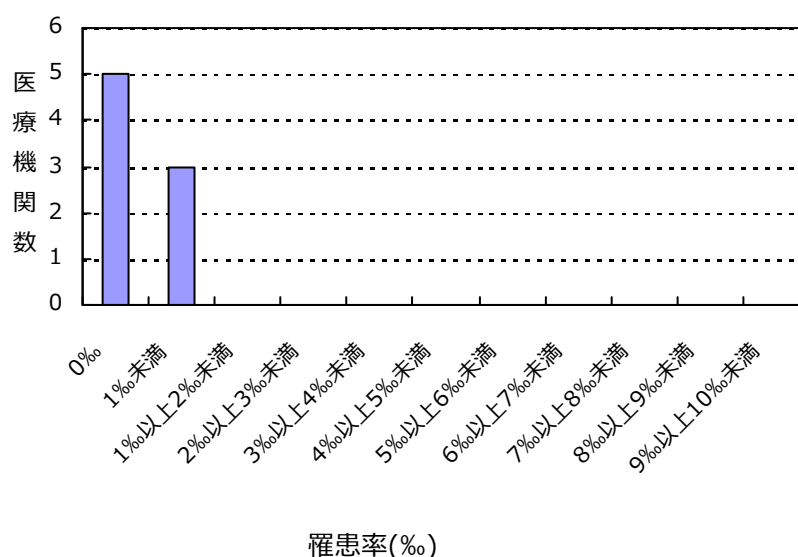
集計対象医療機関の罹患率(N=8)



### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	62,883	0	19	0.30%	0.00 0.00 0.83

集計対象医療機関の罹患率(N=8)



(奈良県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

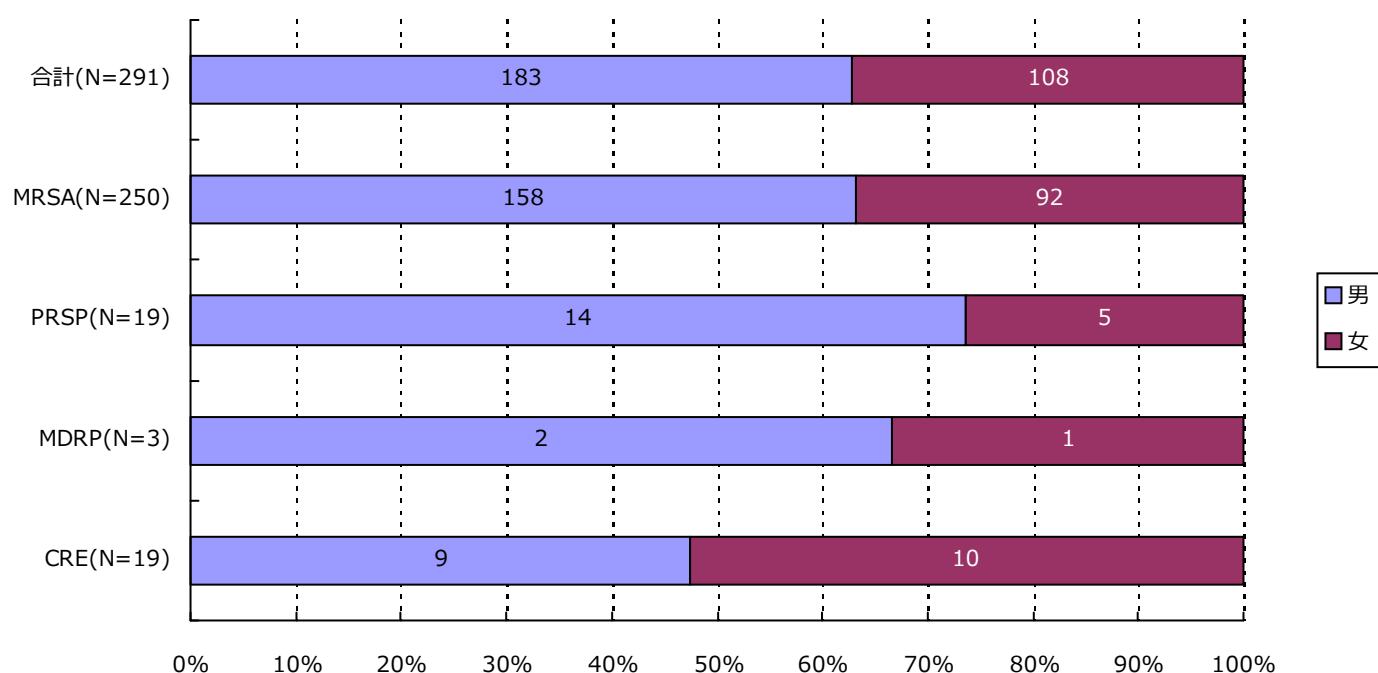
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

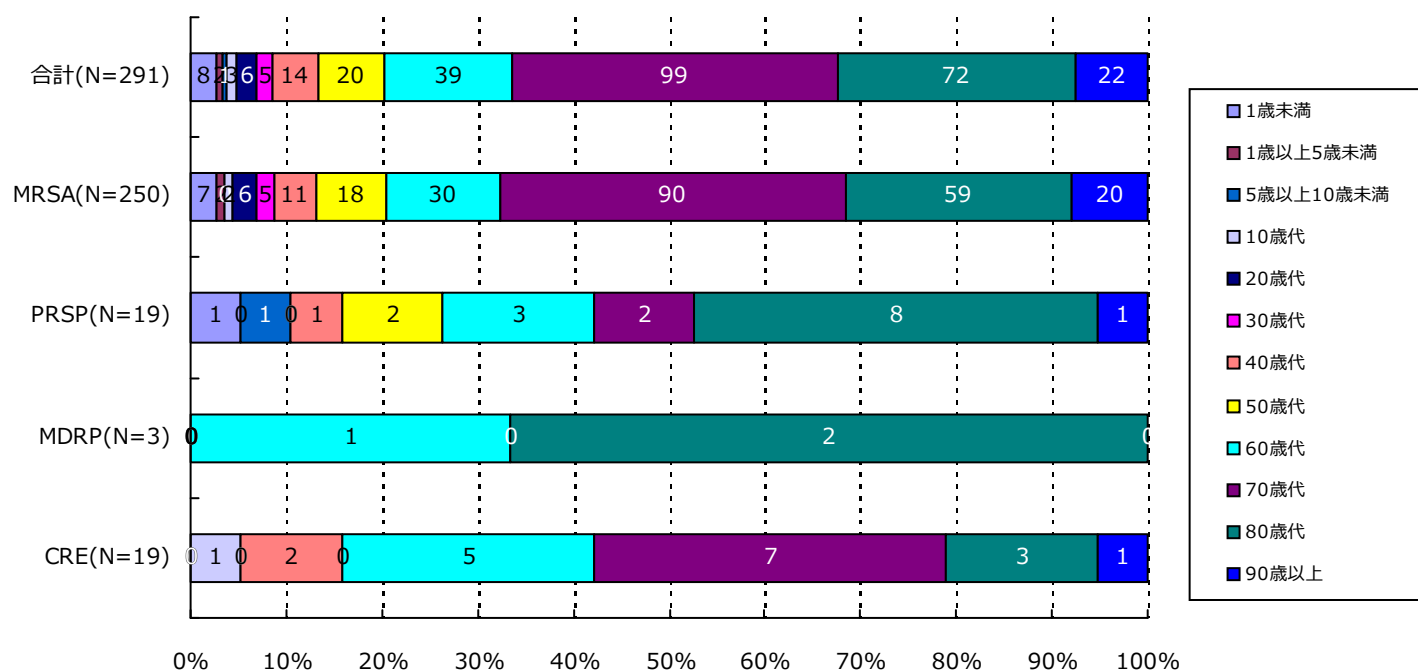
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

## 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



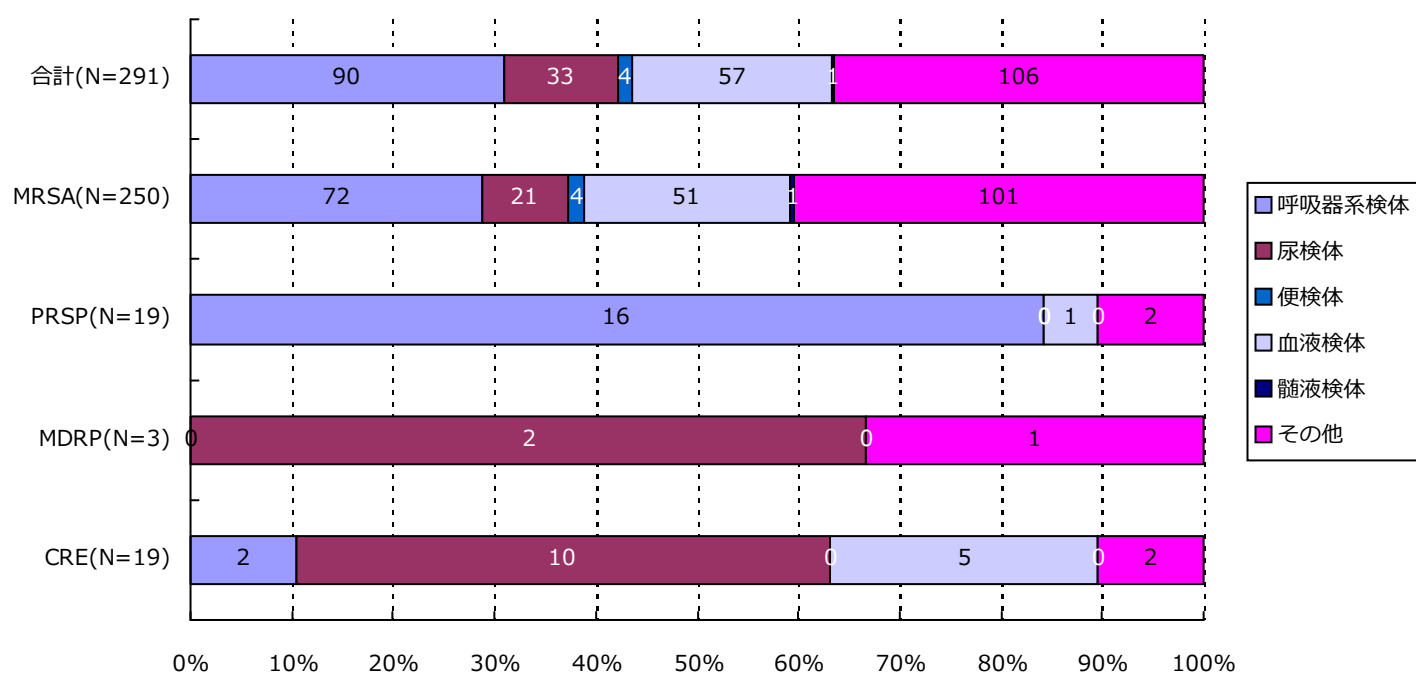
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	183 ( 62.9% )	158 ( 63.2% )	0 ( - )	0 ( - )	14 ( 73.7% )	2 ( 66.7% )	0 ( - )	9 ( 47.4% )
女	108 ( 37.1% )	92 ( 36.8% )	0 ( - )	0 ( - )	5 ( 26.3% )	1 ( 33.3% )	0 ( - )	10 ( 52.6% )
合計	291	250	0	0	19	3	0	19

## 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	8( 2.7%)	7( 2.8%)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	2( 0.7%)	2( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	1( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	3( 1.0%)	2( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)
20歳代	6( 2.1%)	6( 2.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	5( 1.7%)	5( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	14( 4.8%)	11( 4.4%)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)	0( -)	0( -)	2( 10.5%)
50歳代	20( 6.9%)	18( 7.2%)	0( -)	0( -)	2( 10.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	39( 13.4%)	30( 12.0%)	0( -)	0( -)	3( 15.8%)	1( 33.3%)	0( -)	5( 26.3%)
70歳代	99( 34.0%)	90( 36.0%)	0( -)	0( -)	2( 10.5%)	0( -)	0( -)	7( 36.8%)
80歳代	72( 24.7%)	59( 23.6%)	0( -)	0( -)	8( 42.1%)	2( 66.7%)	0( -)	3( 15.8%)
90歳以上	22( 7.6%)	20( 8.0%)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)
合計	291	250	0	0	19	3	0	19

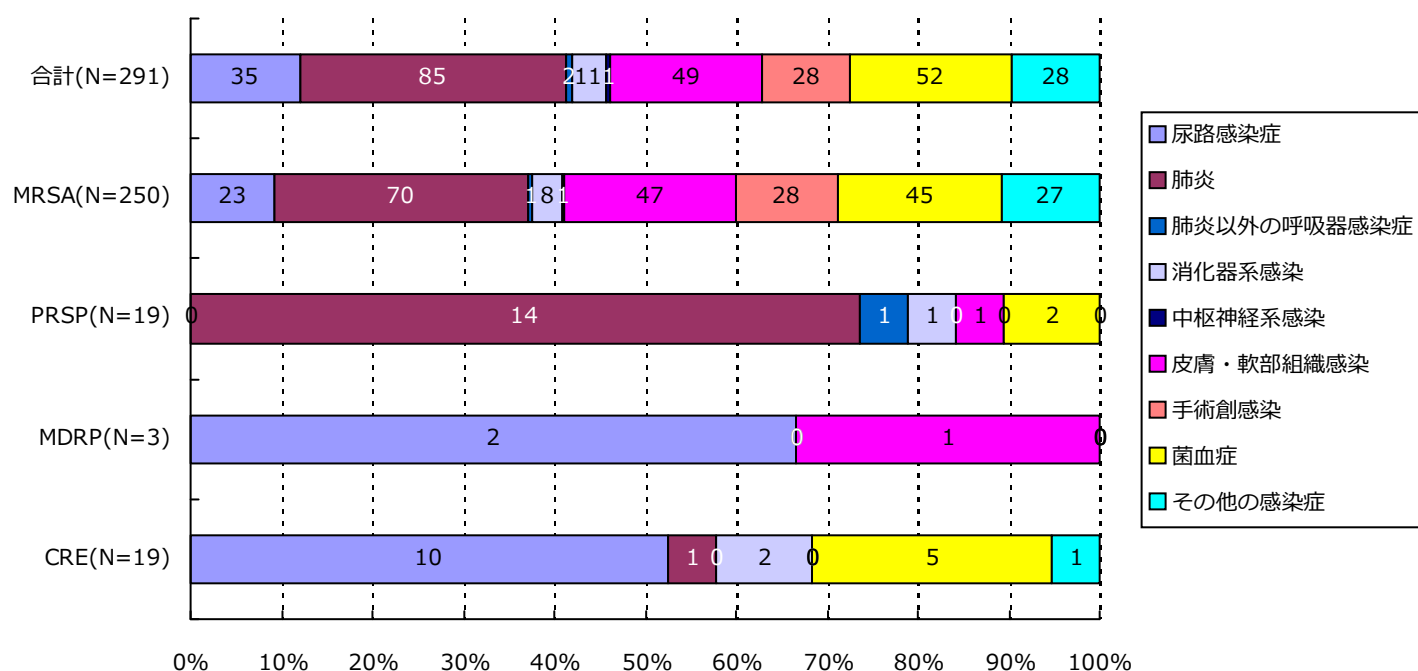
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	90( 30.9%)	72( 28.8%)	0( -)	0( -)	16( 84.2%)	0( -)	0( -)	2( 10.5%)
尿検体	33( 11.3%)	21( 8.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 66.7%)	0( -)	10( 52.6%)
便検体	4( 1.4%)	4( 1.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	57( 19.6%)	51( 20.4%)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)	0( -)	0( -)	5( 26.3%)
髄液検体	1( 0.3%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	106( 36.4%)	101( 40.4%)	0( -)	0( -)	2( 10.5%)	1( 33.3%)	0( -)	2( 10.5%)
合計	291	250	0	0	19	3	0	19

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

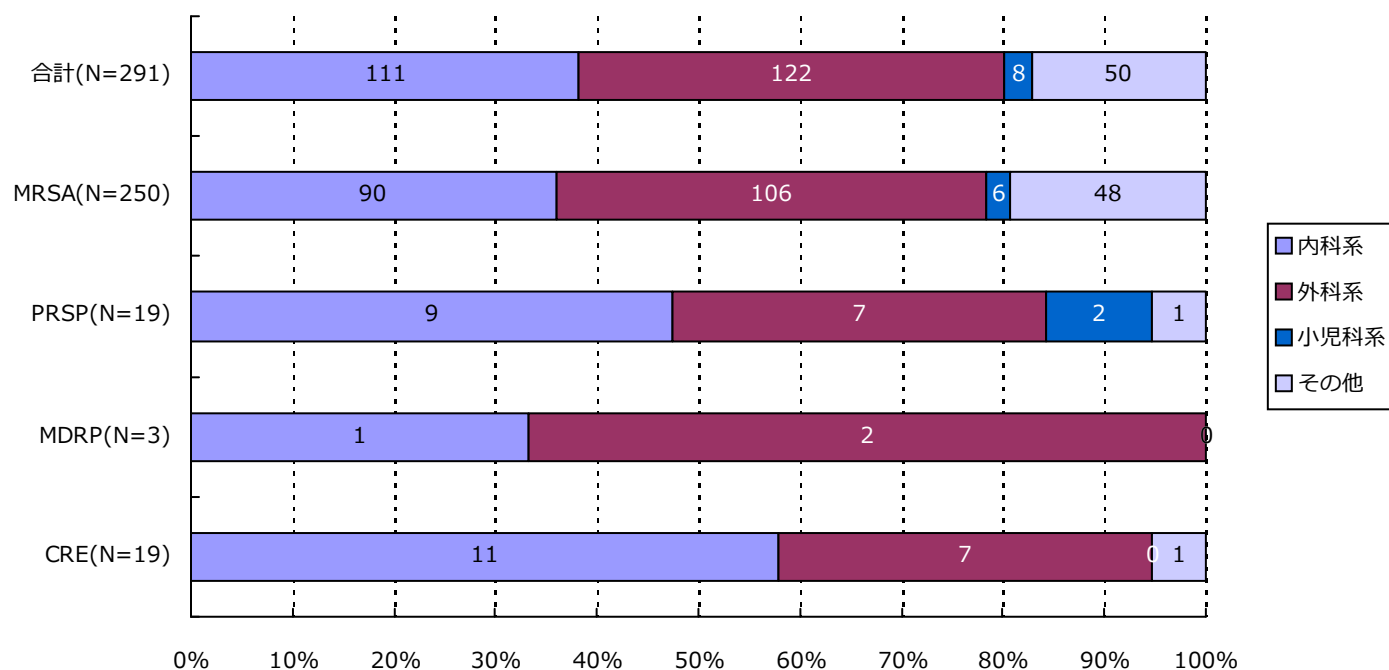
## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	35( 12.0%)	23( 9.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 66.7%)	0( -)	10( 52.6%)
肺炎	85( 29.2%)	70( 28.0%)	0( -)	0( -)	14( 73.7%)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)
肺炎以外	2( 0.7%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	11( 3.8%)	8( 3.2%)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)	0( -)	0( -)	2( 10.5%)
中枢神経系	1( 0.3%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	49( 16.8%)	47( 18.8%)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)
手術創	28( 9.6%)	28( 11.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	52( 17.9%)	45( 18.0%)	0( -)	0( -)	2( 10.5%)	0( -)	0( -)	5( 26.3%)
その他	28( 9.6%)	27( 10.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)
合計	291	250	0	0	19	3	0	19



## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	111( 38.1%)	90( 36.0%)	0( -)	0( -)	9( 47.4%)	1( 33.3%)	0( -)	11( 57.9%)
外科系	122( 41.9%)	106( 42.4%)	0( -)	0( -)	7( 36.8%)	2( 66.7%)	0( -)	7( 36.8%)
小児科系	8( 2.7%)	6( 2.4%)	0( -)	0( -)	2( 10.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	50( 17.2%)	48( 19.2%)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)	0( -)	0( -)	1( 5.3%)
合計	291	250	0	0	19	3	0	19

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
歯科口腔外科	
小児科系	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

## 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/mL* または CFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† LVFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

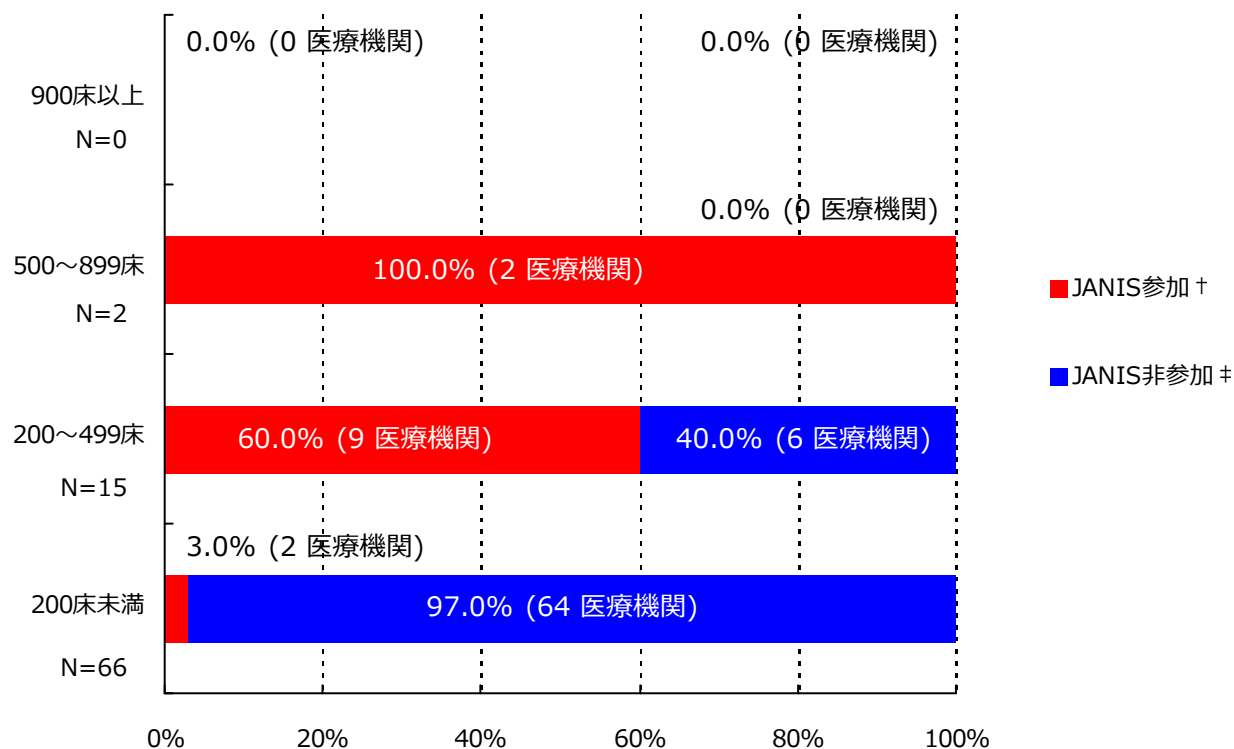
\* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

(和歌山県)  
公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 1. データ提出医療機関\*数(13医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2019年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2018年 都道府県別医療機関数¶) - (2019年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2018年 都道府県別医療機関数¶	2019年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	2	2 ( 100%)
200～499床	15	9 ( 60%)
200床未満	66	2 ( 3%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	83	13 ( 15.7%)

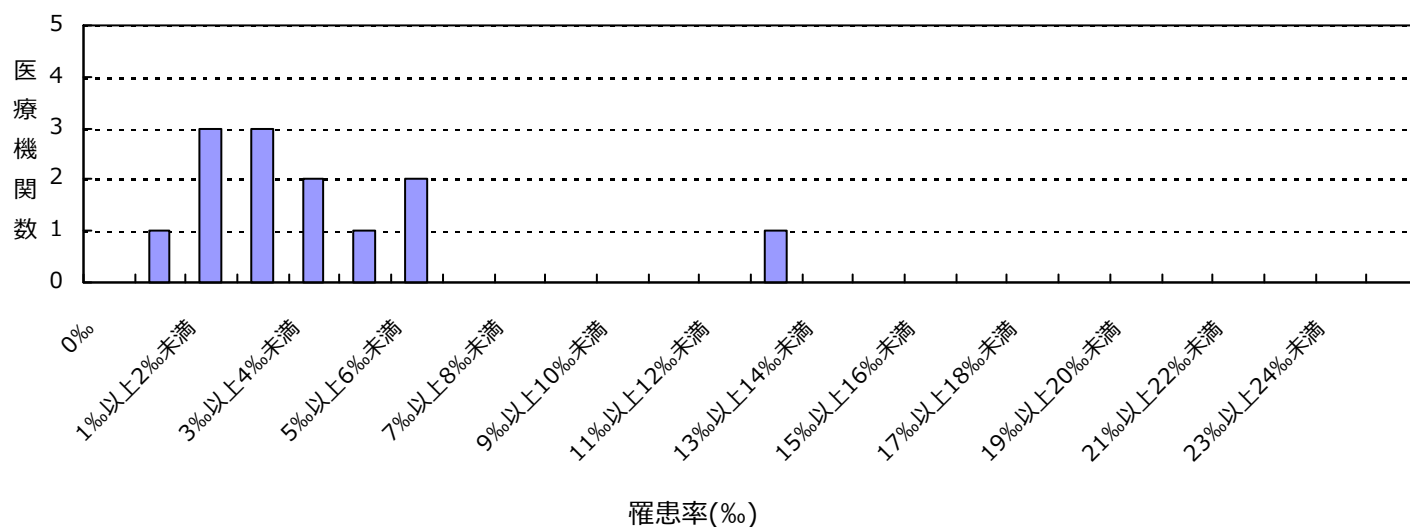
¶2018年医療施設（動態）調査を参照した。

## 2. 新規感染症患者数と罹患率

## メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MRSA	90,464	3	281	3.11‰	0.41 2.70 12.71   H

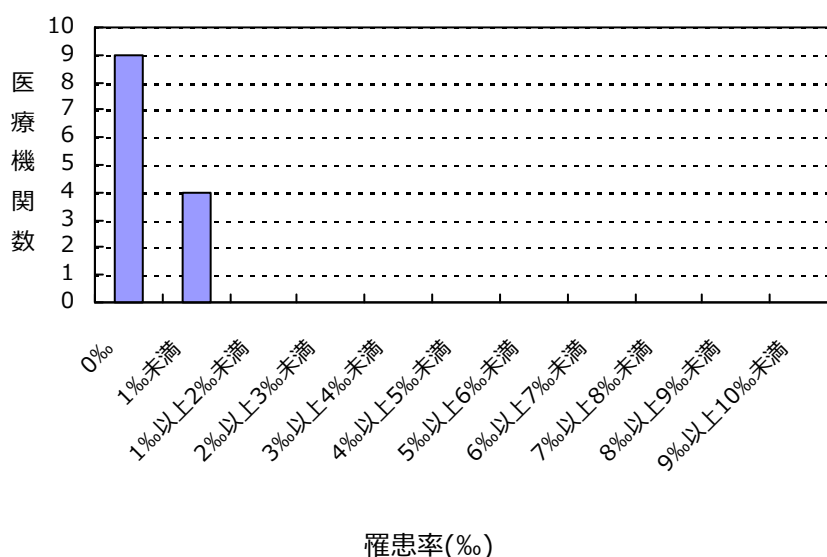
集計対象医療機関の罹患率(N=13)



## ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	90,464	0	6	0.07‰	0.00 0.00 0.98   H

集計対象医療機関の罹患率(N=13)

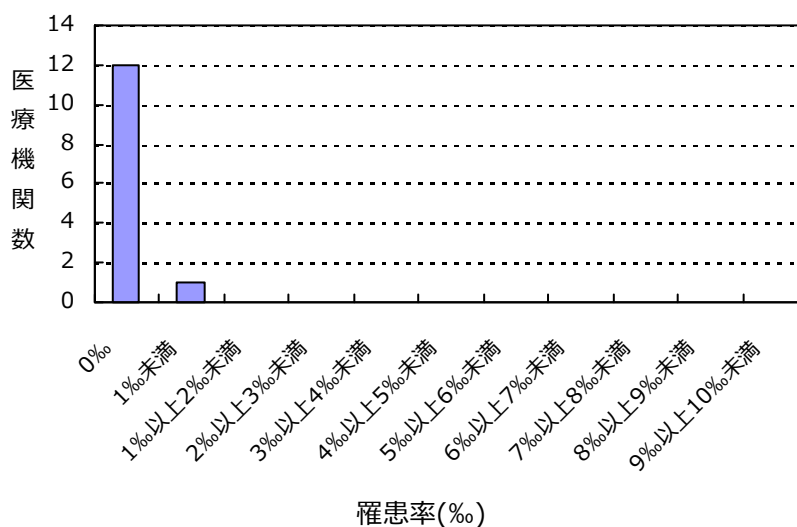


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

## 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	90,464	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.06

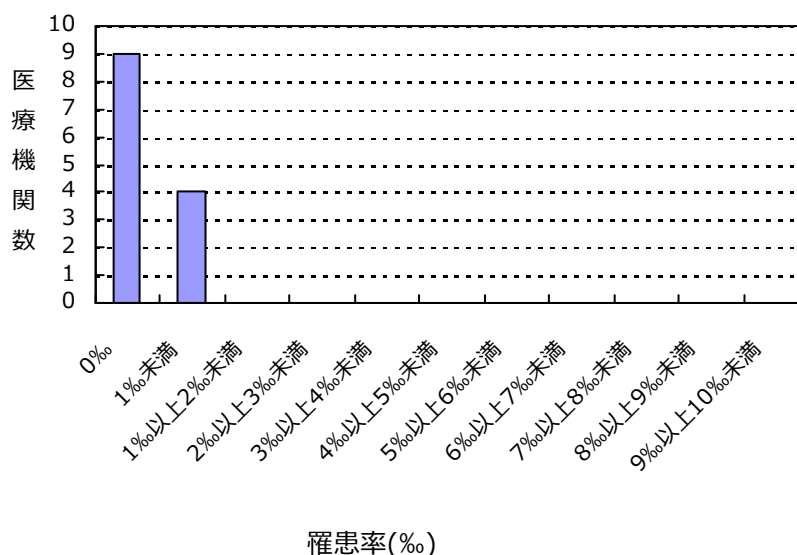
集計対象医療機関の罹患率(N=13)



## カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	90,464	0	4	0.04%	0.00 0.00 0.67

集計対象医療機関の罹患率(N=13)



(和歌山県)

公開情報 2019年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

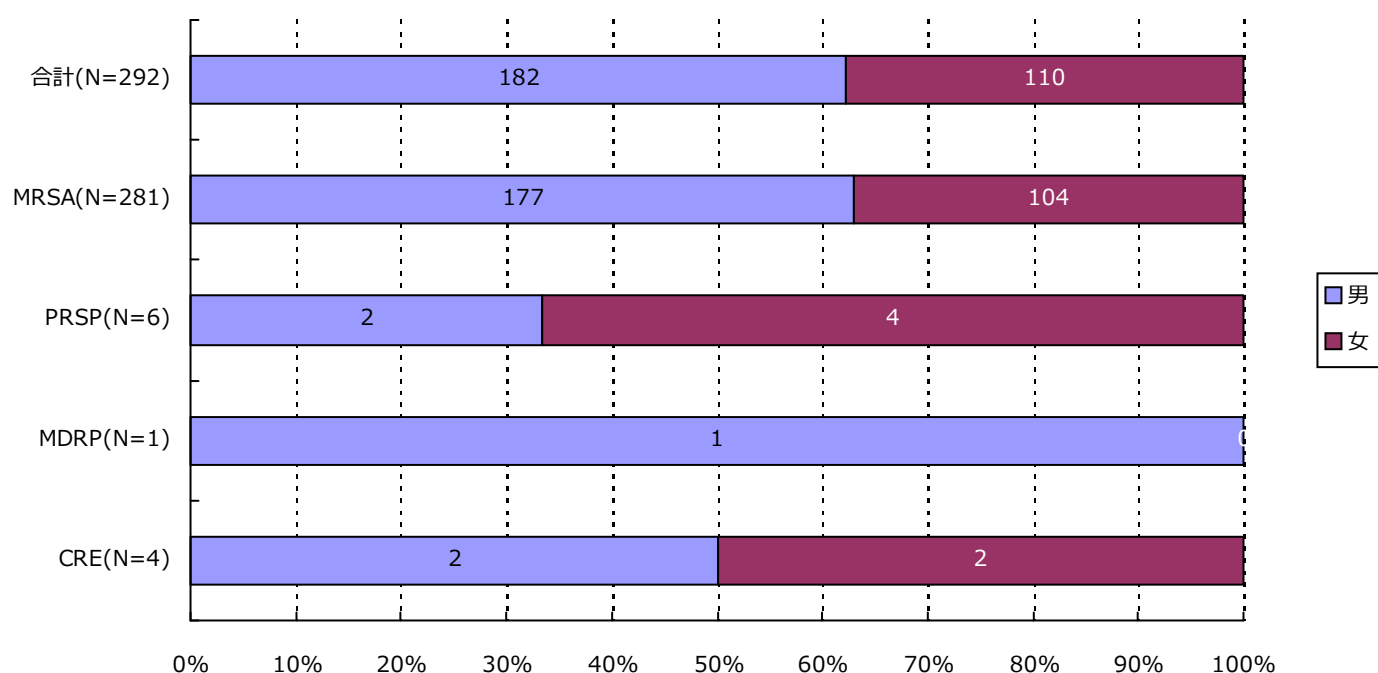
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

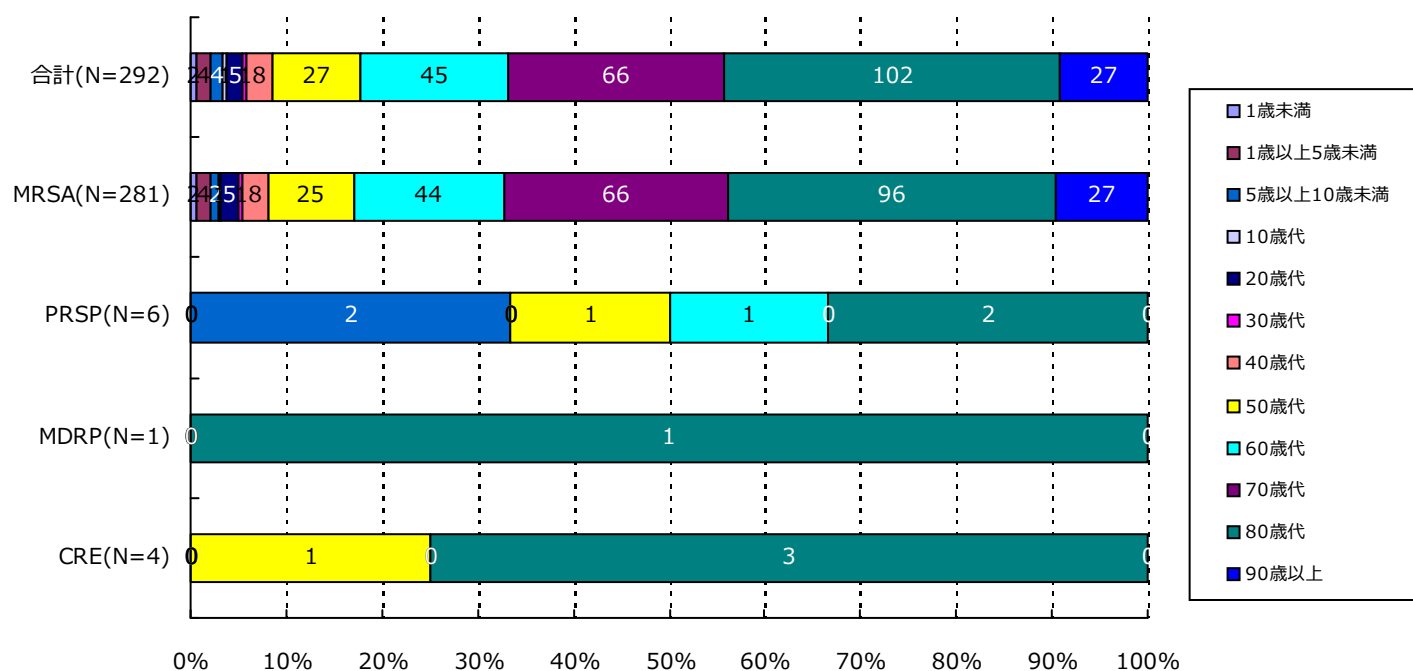
## 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	182 ( 62.3% )	177 ( 63.0% )	0 ( - )	0 ( - )	2 ( 33.3% )	1 ( 100.0% )	0 ( - )	2 ( 50.0% )
女	110 ( 37.7% )	104 ( 37.0% )	0 ( - )	0 ( - )	4 ( 66.7% )	0 ( - )	0 ( - )	2 ( 50.0% )
合計	292	281	0	0	6	1	0	4

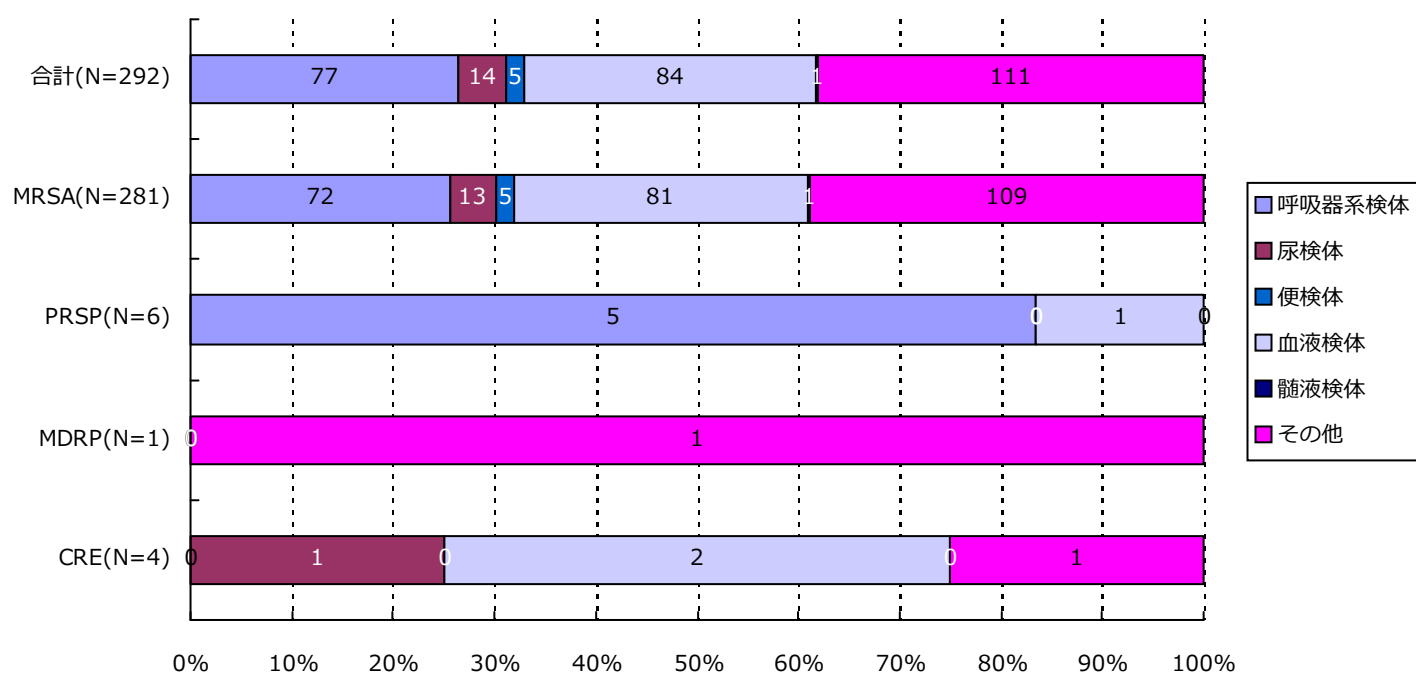


## 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2( 0.7%)	2( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	4( 1.4%)	4( 1.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	4( 1.4%)	2( 0.7%)	0( -)	0( -)	2( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	1( 0.3%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	5( 1.7%)	5( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	1( 0.3%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	8( 2.7%)	8( 2.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	27( 9.2%)	25( 8.9%)	0( -)	0( -)	1( 16.7%)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
60歳代	45( 15.4%)	44( 15.7%)	0( -)	0( -)	1( 16.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
70歳代	66( 22.6%)	66( 23.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
80歳代	102( 34.9%)	96( 34.2%)	0( -)	0( -)	2( 33.3%)	1( 100.0%)	0( -)	3( 75.0%)
90歳以上	27( 9.2%)	27( 9.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	292	281	0	0	6	1	0	4

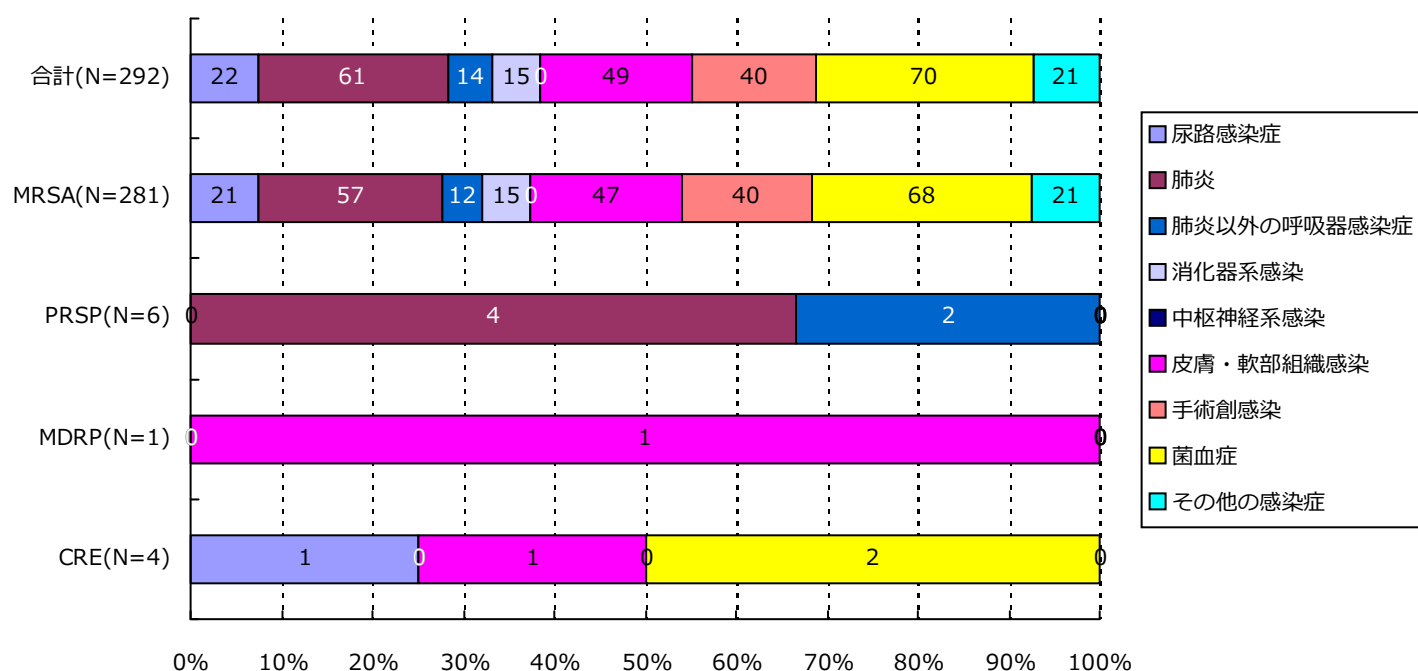
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	77( 26.4%)	72( 25.6%)	0( -)	0( -)	5( 83.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
尿検体	14( 4.8%)	13( 4.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
便検体	5( 1.7%)	5( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	84( 28.8%)	81( 28.8%)	0( -)	0( -)	1( 16.7%)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)
髄液検体	1( 0.3%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	111( 38.0%)	109( 38.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	1( 25.0%)
合計	292	281	0	0	6	1	0	4

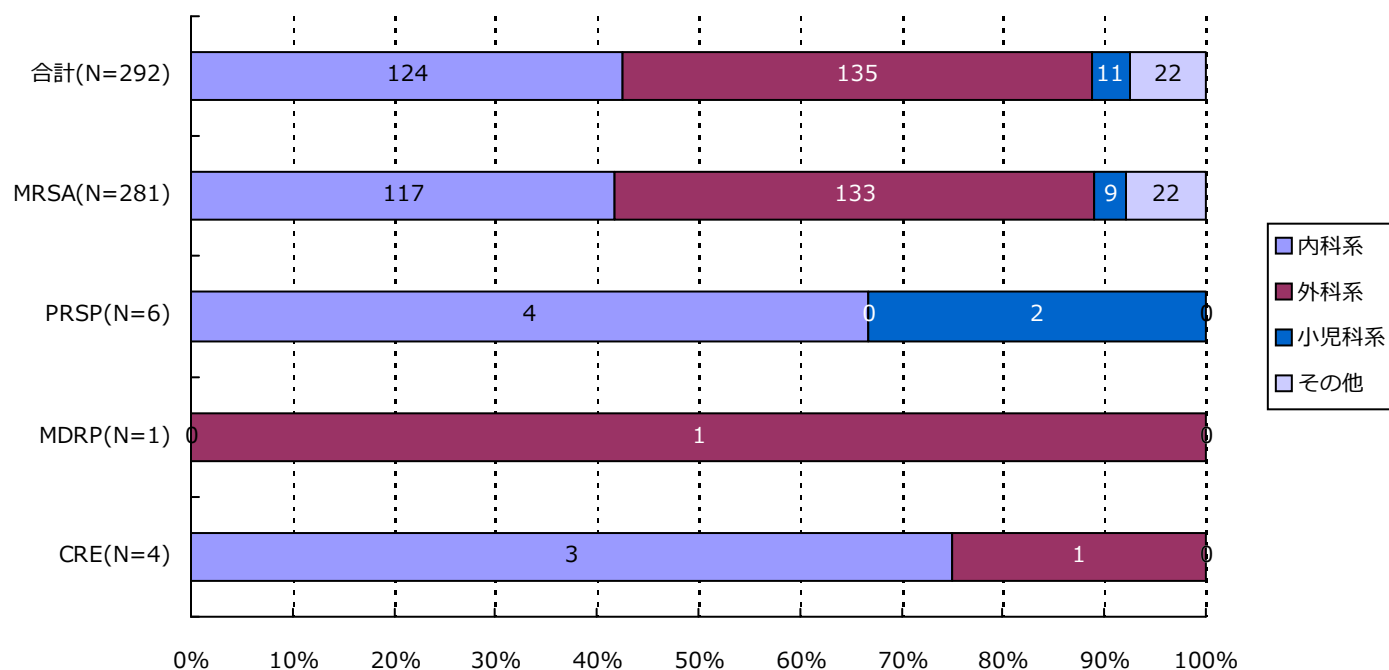
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	22( 7.5%)	21( 7.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
肺炎	61( 20.9%)	57( 20.3%)	0( -)	0( -)	4( 66.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎以外	14( 4.8%)	12( 4.3%)	0( -)	0( -)	2( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	15( 5.1%)	15( 5.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
中枢神経系	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	49( 16.8%)	47( 16.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	1( 25.0%)
手術創	40( 13.7%)	40( 14.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	70( 24.0%)	68( 24.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)
その他	21( 7.2%)	21( 7.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	292	281	0	0	6	1	0	4

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	124( 42.5%)	117( 41.6%)	0( -)	0( -)	4( 66.7%)	0( -)	0( -)	3( 75.0%)
外科系	135( 46.2%)	133( 47.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	1( 25.0%)
小児科系	11( 3.8%)	9( 3.2%)	0( -)	0( -)	2( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	22( 7.5%)	22( 7.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	292	281	0	0	6	1	0	4

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/mL* または CFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/mL† AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/mL† LVFX $\geq$ 8 $\mu$ g/mL* CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

\* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠